

消 防 年 報

令和6年度版



ファイトラム(令和5年度消防団の力向上モデル事業)

富山市消防局

目 次

消防年報 令和6年度版

富山市の概況		通信指令	
1 富山市の位置	1	1 消防通信系統図	37
2 地形等	1	2 無線局	39
3 富山市の人口・世帯数	1	3 固定電話(加入・IP)、携帯電話からの 119番受信状況	40
富山市消防のあらまし		消防団	
令和6年度 富山市消防業務推進重点目標	2	1 定員及び現員	42
1 富山市消防のあゆみ	3	2 団員の勤続年数状況	42
2 富山市消防局の組織	7	3 団員の年齢状況	43
3 分掌事務	8	4 団員の任免状況	43
4 富山市消防団の組織	10	5 団員の諸報酬支給状況	44
5 応援協定の状況	11	6 消防団装備・置場	45
6 消防機関配置図	12		
7 消防分団配置図	13	火 災	
総 務		1 火災概況	50
1 消防予算	15	2 月別火災概況	51
2 消防庁舎の状況	21	3 火災原因別順位	51
3 職員の配置状況	22	救急・救助	
4 職員の年齢状況	23	1 令和5年 救急出動件数	52
5 職員の勤続年数状況	23	2 令和5年 傷病程度別搬送人員	52
6 職員の任免状況	24	3 令和5年 65歳以上の搬送人員	52
7 職員の公務災害発生状況	24	4 令和5年 救助出動件数	53
8 消防音楽隊	25	5 令和5年 その他災害出動件数	53
予 防		6 消防艇の出動状況	54
1 政令別表第1に基づく防火対象物状況	26	7 応急手当の普及員啓発実施状況	55
2 中高層(地下)建物状況	26		
3 消防法第7条に基づく建築同意事務状況	27		
4 危険物製造所等の施設数	27		
5 法令に基づく届出処理状況	27		
6 住宅防火訪問等実施状況	27		
7 出前講座開催状況	28		
8 広報活動実施状況	28		
9 幼年消防クラブの結成状況	29		
10 少年消防クラブの結成状況	29		
11 女性防火クラブの結成状況	29		
警 防			
1 消防車両等配置状況	30		
2 所属別車両一覧	31		

富山市の概況



1. 富山市の位置

富山市は、本州日本海側の中央付近にあり富山湾に面し、北緯36度22分～36度45分、東経137度01分～137度42分（南北43.8km、東西60.7km）、東京・大阪からはほぼ等距離にある県都で、富山県の中央に位置しています。

2. 地形等

本市は、海拔0mの富山湾から3,000m級の山々にわたり、溪谷や急流河川等複雑な地形を有するほか、中高層ビルや石油コンビナートなどの危険物施設が点在しています。

平成8年には中核市に指定され、平成17年4月に、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村が合併し、新しい「富山市」になりました。



3. 富山市の人口・世帯数

(令和6年4月1日)

人口	男	女	計
	197,491人	207,379人	404,870人
世帯数	185,491世帯		

令和6年度 富山市消防業務推進重点目標

◆重点目標【人にやさしい安心・安全なまちづくり】

〈重点方針1〉火災予防対策の推進

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 事業所の防火安全対策の推進
- ③ 放火火災等防止対策の推進

〈重点方針2〉多様な災害や事故への対応能力の強化

- ① 危機管理体制の充実
- ② 災害現場活動能力の向上
- ③ 震災時等における消防体制の強化
- ④ 救急体制の充実
- ⑤ 消防救急デジタル無線の更新整備
- ⑥ 消防総合情報管理システムの更新整備

〈重点方針3〉応急手当の普及啓発

- ① 応急手当の普及啓発の推進
- ② 救急需要対策の推進

〈重点方針4〉地域における消防拠点の整備と機能強化

- ① 常備消防拠点施設の整備
- ② 消防団の充実強化
- ③ 国際拠点港湾を管轄する消防との連携協力

〈重点方針5〉人材の育成・消防広報の推進

- ① 職員研修の充実
- ② 団員研修の充実
- ③ 広報活動の推進

富山市消防のあらまし



1. 富山市消防のあゆみ

平成17年 4月 1日	富山地域7市町村が合併し、新「富山市」が誕生。これに伴い富山市消防局（定数445名）及び富山市消防団（定数2,649名）が発足した。 富山市消防局通信指令課の隔日勤務者を2名増員し、18名から20名体制とした。 市町村合併により、119番通報を集中受信できるよう指令システムを再編し、運用を開始した。
平成17年 5月29日	富山市消防団結団式を富山第一ホテルにおいて挙行了した。
平成17年 7月 1日	一般公募により女性消防団員23名が、富山方面団・北部方面団・呉羽方面団・水橋方面団各団本部に入団した。
平成17年10月 5日	第11回全国女性消防団員活性化富山大会が富山市芸術文化ホールで開催され女性消防団員等が参加協力した。
平成17年10月20日	第17回全国女性消防隊消防操法大会が横浜市訓練センターで開催され、富山県の代表として富山市大沢野女性消防隊が出場した。
平成17年10月26日	携帯電話での119番通報が代表受信方式（県内3本部）として受信していたが各管轄の消防本部へ、直接通報が入る「直接受信方式」に変更された。
平成17年12月15日	富山方面団五番町分団を同場所において改築した。
平成18年 3月 1日	八尾方面団本部に女性消防団員10名が入団した。
平成18年 4月 1日	職員定数を445名から474名に増員した。 婦中方面団本部に女性消防団員5名が入団した。
平成18年 5月 1日	八尾消防署に配置されていた救助工作車を大沢野消防署に配置換えした。
平成18年 6月30日	富山消防署北部出張所に配置されていたはしご車（15m）を富山消防署東部出張所へ配置換えした。
平成18年 7月 5日	富山消防署東部出張所が東石金地内から中市地内へ移転新設し、竣工式が挙行された。
平成18年 8月	鉄軌道敷内及び沿線等で災害が発生した場合、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転を再開するため、各機関との鉄道災害時の安全対策に関する覚書を締結した。 ・8月10日 富山ライトレール株式会社 ・8月29日 富山地方鉄道株式会社 ・9月30日 西日本旅客鉄道(株)金沢支社、日本貨物鉄道(株)金沢支店
平成18年12月25日	細入地域に分遣所を新築し、大沢野消防署細入分遣所として開所式を挙行了した。 また、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台を配置し運用を開始した。
平成18年12月26日	大沢野消防署細入分遣所の竣工式を挙行了した。
平成19年 1月 7日	平成19年富山市消防出初式の会場を城址大通り、式典会場を富山県民会館に変更し挙行了した。また、今年度より消防演技に裸放水を追加した。
平成19年 1月22日	富山方面団清水町分団置場を同場所において改築した。
平成19年 3月12日	富山方面団太田分団置場を太田地内にて移転新築した。
平成19年 3月25日	能登半島地震が、9時42分に発生した。 富山市消防局から7隊25名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、石川県輪島市門前地区。 派遣期間は、3月25日、26日。

平成19年 5月17日	地域住民や消防団員を雇用する事業所等の関係者に、消防団活動に対する理解と協力を得て、団員の加入促進と消防団活動を一層活性化させ、防火思想のさらなる普及を図るため、富山市消防団活性化大会をオーバードホールで開催した。
平成19年10月21日	今年度から初めてとなる富山市消防団新任消防団員研修会を消防局にて実施した。
平成19年10月29日	災害防ぎょ活動時等における、通信体制の充実を図るため、大沢野署、大山署、八尾署、婦中署の携帯型無線機（43台）の再配置及び廃棄した無線機4台を復活させ各署所へ再配置を実施した。
平成19年11月 9日	携帯電話・IP電話の「位置情報通知システム」を運用開始した。
平成19年11月29日	婦中消防署山田分遣所の竣工式を挙行了した。
平成19年12月 3日	呉羽方面団長岡分団置場を同場所において改築。
平成19年12月23日	富山市消防音楽隊創立25周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成20年 1月23日	火災が多発したことにより、市長記者発表を行い、「火災多発警報」を発令した。
平成20年 2月18日	生物・化学災害消防活動計画を新たに策定し、運用を開始した。
平成20年 3月 6日	富山方面団山室分団置場を中川原地内から秋吉地内へ移転新築した。
平成20年 3月 7日	自治体消防制度60周年記念式典が日本武道館で開催され、富山市消防団長以下14名が出席した。
平成20年 3月27日	大山消防署小見分遣所の竣工式を挙行了した。
平成20年 4月 1日	再任用制度を初めて導入し、再任用職員を5名配置した。
平成20年 5月31日	自治体消防制度60周年富山県記念式典をとやま自遊館ホールで開催し、招待者及び消防団員が約700名出席した。
平成20年 8月 9日	自治体消防制度60周年記念富山県防火・防災推進大会が富山県民会館で開催され、県知事特別表彰として、富山市から消防功労4名、永年勤続功労116名が受賞した。
平成20年 9月24日	女性消防吏員の隔日勤務に対応するため、富山市消防局・富山消防署合同庁舎2階女性更衣室を改修した。
平成20年 9月30日	富山消防署の救助隊を高度救助隊に位置付けるにあたり、発隊式を実施した。
平成20年10月 1日	中核市に配置される高度救助隊に必要な地震警報器等の高度救助資機材を整備し、富山消防署の救助隊を増員して高度救助隊を設置、運用を開始した。
平成20年10月 1日	地域防災体制のより一層の充実を図るため、消防団に積極的に協力している事業所等に対し、「富山市消防団協力事業所表示制度」を開始した。
平成20年11月11日	富山市消防団協力事業所表示制度の表示証交付式を初めて挙行し、34事業所を11月1日付けで協力事業所に認定した。
平成20年12月11日	五福分団器具置場を同場所において改築した。
平成20年12月24日	草島分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 3月27日	星井町分団器具置場を同場所において改築した。
平成21年 8月21日	富山市は、二酸化炭素排出量の削減を図るため、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車を3台導入。うち1台が富山消防署へ配備された。
平成21年12月 9日	「国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱」及びそれに基づく「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」の改正に伴い、消防庁長官から国際消防救助隊編成協力市町村の登録を受けるとともに、6名を国際消防救助隊員に登録した。

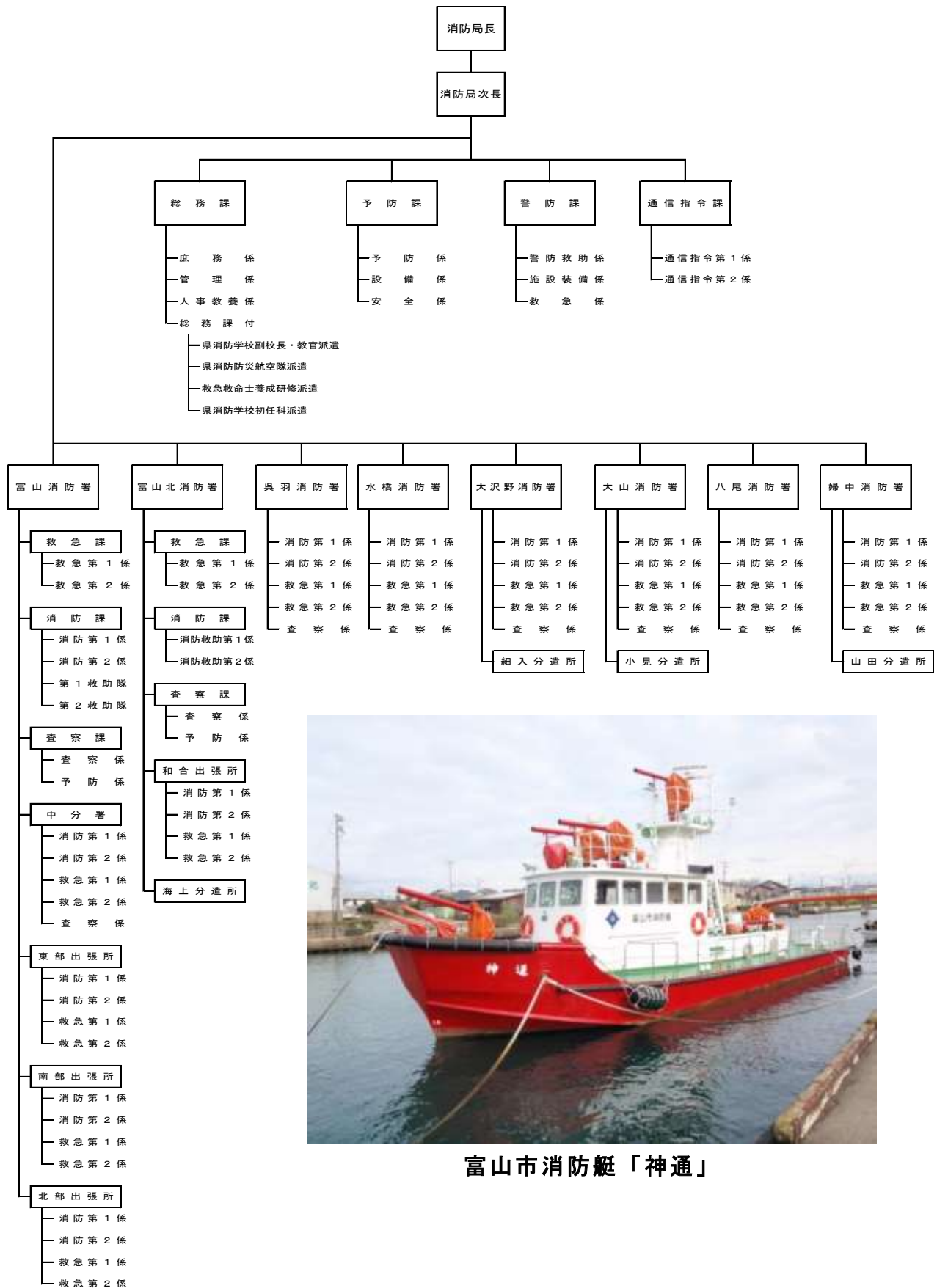
平成21年12月10日	水橋消防署が水橋柳寺地内から水橋館町地内へ移転新築し、運用開始した。
平成21年12月 4日	広田分団器具置場を鍋田地内に移転新築した。
平成21年12月12日	水橋消防署竣工式を挙行了した。
平成22年 2月25日	平成21年度総務省消防庁消防団協力事業所表示証を日本カーボンエンジニアリング(株)と、山田村農業協同組合が富山市で初めて交付を受け、東京のニッショーホールで伝達式が行われた。
平成22年 2月26日	蜷川分団器具置場を同場所において改築した。
平成22年 4月 1日	富山市消防団として初の女性分団となる富山女性分団(17名)、大沢野女性分団(20名)を結成し、辞令交付式を挙行了した。 平成21年12月9日に登録した国際消防救助隊の隊員証交付式を挙行了した。
平成22年 5月31日	富山市消防団長の佐伯光一氏が(財)富山県消防協会長に就任した。
平成22年11月12日	第22回全国消防操法大会が愛知県で開催された。 開催場所 愛知県蒲郡市竹谷町太田新町1-1 蒲郡ボートレース場 出場隊 ポンプ車の部 草島分団 入賞(優良賞)
平成22年12月27日	浜黒崎分団器具置場を同場所において改築した。
平成22年12月28日	保内分団(三田)器具置場を同場所において改築した。
平成23年 1月30日	呉羽消防署仮設庁舎を同敷地内に建設し、運用を開始した。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震が、14時46分に発生した。 富山市消防局から延べ39隊160名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、宮城県名取市。 派遣期間は、3月11日から4月13日。 地震・津波・原発等の甚大な被害をもたらした、東日本大震災であった。
平成23年 4月13日	3月11日から派遣していた緊急消防援助隊富山県隊の解隊式が消防局で行われた。
平成23年 5月27日	消防救急無線のデジタル化に係る、「県内の広域化・共同化に係る全体計画」を作成することを目的に、富山県消防救急無線デジタル化協議会が設立・開催された。
平成23年12月21日	呉羽分団器具置場を同場所において改築した。
平成23年12月22日	神明分団器具置場を同場所において改築した。
平成23年12月25日	呉羽消防署を同場所において改築し、運用を開始した。
平成24年 2月 1日	宮城県知事及び名取市長から感謝状を受領した。(伝達式)
平成24年 3月 1日	消防総合指令システム部分更新に伴う運用を開始した。
平成24年 3月24日	呉羽消防署竣工式を挙行了した。
平成24年12月21日	富山市消防音楽隊創立30周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で開催した。
平成25年 1月11日	山田北部分団器具置場を山田小島地内に新築した。
平成25年 7月 1日	新富山市消防団長に、宮本光明氏が就任した。
平成25年11月14日	鵜坂分団器具置場を婦中町田島地内に移転新築した。
平成26年 3月20日	新庄分団器具置場を同場所において改築した。
平成26年 9月27日	長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山(標高3,067m)で11時25分頃に噴火災害が発生した。 富山市消防局から3隊13名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、長野県王滝村 御嶽山 派遣期間は、10月14日から10月17日。 戦後最大の人的被害をもたらした噴火災害であった。

平成26年11月22日	長野県北部地震が、22時08分頃に発生した。 富山市消防局から5隊21名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は、長野県白馬村。 派遣期間は、11月23日。
平成26年11月26日	東部分団器具置場を同場所において改築した。
平成27年 1月28日	富山消防署に15mはしご車を配置し、運用を開始した。
平成27年 3月18日	藤ノ木分団器具置場を開地内において移転新築した。
平成27年 4月26日	4月25日15時11分ネパール連邦民主共和国の首都カトマंडゥから北西約80kmの地域でマグニチュード7.8の強い地震が発生した。 消防庁長官からの派遣要請を受け、富山市消防局から1名を国際消防救助隊へ派遣した。 派遣先はネパール連邦民主共和国 首都カトマंडゥ 派遣期間は、4月26日から5月9日。
平成27年10月26日	四方分団置場を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年11月 8日	富山北消防署和合出張所を四方荒屋地内に移転新築した。
平成27年12月 7日	水橋西部分団器具置場を同場所において改築した。
平成28年 4月 1日	救急需要の増大や、救急の高度化に対応するため、富山消防署及び富山北消防署の「庶務救急課」を「救急課」に変更し、他の署や分署、出張所には「救急係」を新設、また、警防課の「救急救助係」は「救急係」に変更した。
平成28年 4月 1日	消防救急デジタル無線の運用を開始した。
平成28年11月22日	西田地方分団器具置場を西田地方町二丁目地内に移転新築した。
平成28年11月29日	音川分団器具置場を婦中町外輪野地内に移転新築した。
平成29年 2月 1日	富山市消防団員等応援事業を導入した。
平成29年 2月 1日	富山市学生消防団活動認証制度を導入した。
平成29年 2月24日	水橋消防署に資機材搬送車を配置し、運用を開始した。
平成29年10月 7日	八尾消防署を八尾町福島地内に移転新築した。
平成29年11月29日	神保分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月 8日	堀川分団器具置場を同場所において改築した。
平成29年12月22日	富山市消防音楽隊創立35周年記念演奏会を富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）で開催した。
平成30年 7月 6日	富山北消防署海上分遣所に水上バイクを配置し、運用を開始した。
平成30年 7月 7日	自治体消防制度70周年富山市記念式典を富山国際会議場で開催し、招待者及び消防団員が約600名出席した。
平成30年12月 5日	熊野分団（婦中）器具置場を婦中町堀地内に移転新築した。
令和 2年 2月28日	月岡分団器具置場を同場所において改築した。
令和 2年 3月12日	上条分団器具置場を水橋石割地内に移転新築した。
令和 2年 4月 1日	消防総合情報管理システムを更新し運用を開始した。
令和 2年 7月28日	大沢野消防署を同場所において改築し、運用を開始した。
令和 3年 3月18日	倉垣分団器具置場を同場所において改築した。
令和 3年 3月28日	大沢野消防署竣工式を挙行了した。
令和 3年11月 5日	立山町との消防指令業務共同運用に係る基本事項に関する合意書を締結した。
令和 3年12月10日	池多分団器具置場を同場所において改築した。
令和 5年 3月28日	立山町との消防指令業務にかかる事務の委託に関する協議書を締結した。
令和 5年 4月 1日	立山町の消防指令業務にかかる委託事務を開始した。
令和 5年 9月11日	富山消防署南部出張所を同場所において改築し、運用を開始した。

令和 6年 1月 1日	令和6年能登半島地震が16時10分に発生した。 富山市で震度 5 強を観測、富山市消防災害対策本部を設置し、災害対応にあたった。
令和 6年 1月 9日	富山市消防局から令和6年能登半島地震の発生に伴い、延べ26隊76名を富山県緊急消防援助隊へ派遣した。 派遣先は石川県珠洲市。 期間は、1月9日から1月22日まで。
令和 6年 1月22日	1月9日から派遣していた緊急消防援助隊富山県隊の解隊式が、氷見消防署で行われた。
令和 6年 2月 3日	令和6年能登半島地震の発生に伴い、奥能登広域圏事務組合消防本部から支援の要請を受け、「令和6年能登半島地震における広域応援協定」を締結した。 2月3日から3月4日まで延べ15隊53名を輪島消防署へ派遣。
令和 6年 2月 7日	高岡市及び射水市と消防艇の共同運航に係る基本事項に関する合意書を締結した。
令和 6年 3月27日	熊野分団器具置場を同場所において改築した。

2. 富山市消防局の組織

富山市消防局の組織は、4課8消防署1分署4出張所4分遣所からなり、消防職員は468名（ほか定数外3名、再任用職員7名）、（令和6年4月1日現在 定数474名）となっている。



3. 分掌事務

・ 消防局の分掌事務

- 総 務 課
- (1) 局における富山市行政組織規則第7条第2項に規定する事項
 - (2) 文書に関すること。
 - (3) 職員及び団員の人事に関すること。
 - (4) 職員及び団員の福利厚生に関すること。
 - (5) 職員及び団員の教養訓練に関すること。
 - (6) 職員及び団員の表彰に関すること。
 - (7) 消防施設の整備に関すること。
 - (8) 消防年報に関すること。
 - (9) 局の所掌事務で他の課の主管に属しない事務に関すること。

- 予 防 課
- (1) 火災予防に関すること。
 - (2) 建築の許認可・確認の同意に関すること。
 - (3) 消防用設備等に関すること。
 - (4) 危険物の規制に関すること。
 - (5) 液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。
 - (6) 火災の原因及び損害調査に関すること。
 - (7) 消防広報に関すること。
 - (8) 違反処理に関すること。

- 警 防 課
- (1) 災害の警戒防ぎょに関すること。
 - (2) 人命救助に関すること。
 - (3) 救急業務に関すること。
 - (4) 水難救護に関すること。
 - (5) 消防機械、装備等の整備及び運用に関すること。
 - (6) 消防水利に関すること。
 - (7) その他警防に関すること。

- 通信指令課
- (１) 火災、救急、救助その他災害出場の指令管制に関すること。
 - (２) 消防通信の運用に関すること。
 - (３) 消防通信施設等の維持管理に関すること。
 - (４) 災害・支援情報等の運用管理に関すること。
 - (５) 消防気象情報に関すること。
 - (６) 火災、救急、救助その他災害の統計に関すること。

・消防署の分掌事務

- 救 急 課
- (１) 庶務及び消防団の事務に関する事項
 - (２) 人事・服務及び教養訓練に関する事項
 - (３) 消防施設の管理に関する事項
 - (４) 救急業務に関する事項
 - (５) 他の主管に属しない事項

- 消 防 課
- (１) 災害の警戒防ぎょに関する事項
 - (２) 人命救助及び水難救護に関する事項
 - (３) 消防機械器具等の運用管理に関する事項
 - (４) その他消防に関する事項

- 査 察 課
- (１) 火災予防に関する事項
 - (２) 消防対象物の立入検査に関する事項
 - (３) 建築の許認可・確認同意及び危険物の規制に関する事項
 - (４) 火災の原因及び損害調査に関する事項
 - (５) 液化石油ガス等の防火指導に関する事項
 - (６) その他予防に関する事項

※呉羽消防署、水橋消防署、大沢野消防署、大山消防署、八尾消防署及び婦中消防署にあっては、それぞれ前記に規定する各課の分掌事務を行うものとする。

4. 富山市消防団の組織

富山市消防団の組織は、1団本部10方面団80コ分団からなり、消防団員は1,955名（令和6年4月1日現在定数2,649名）となっている。



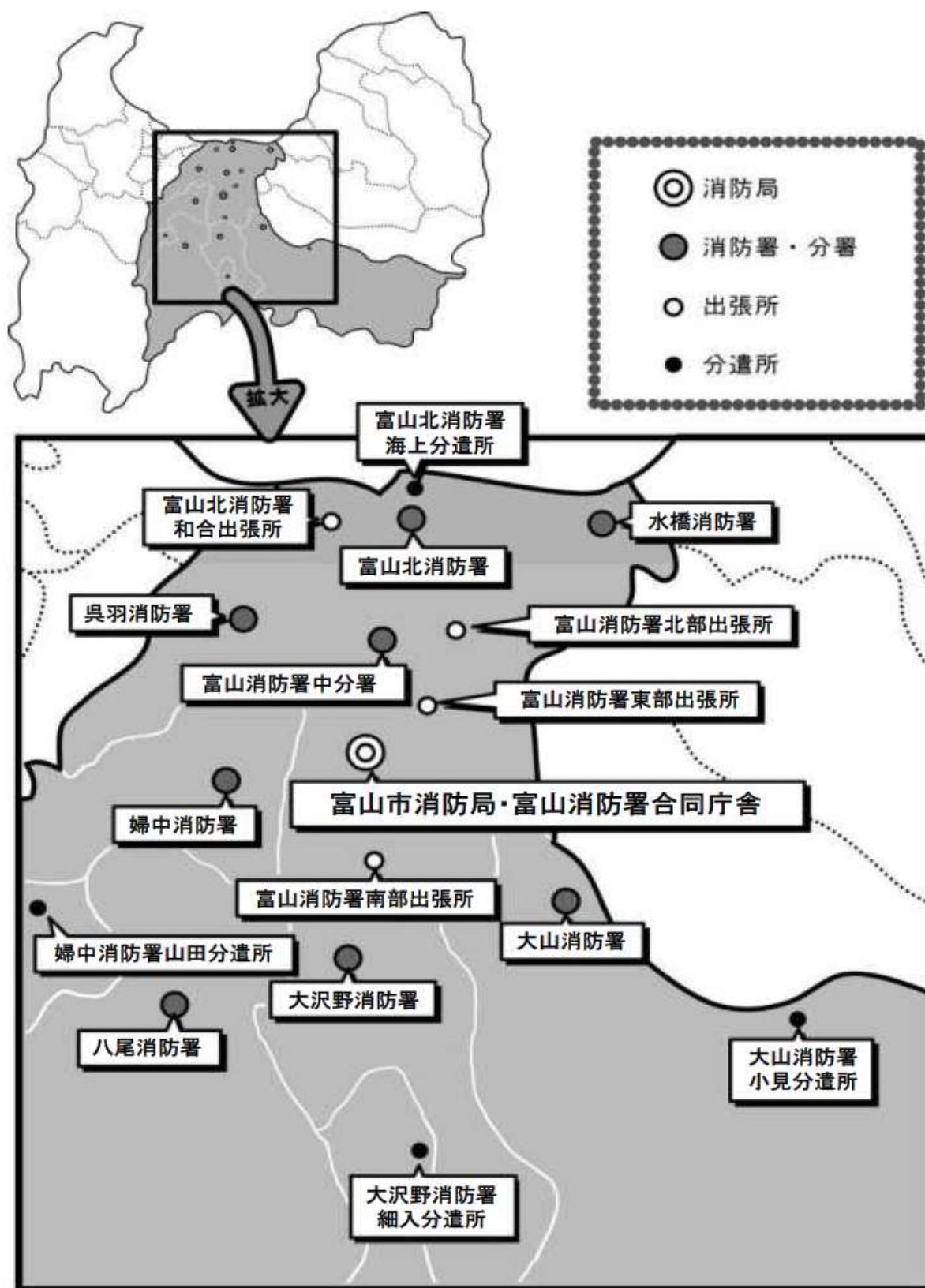
5. 応援協定の状況

応援協定の名称

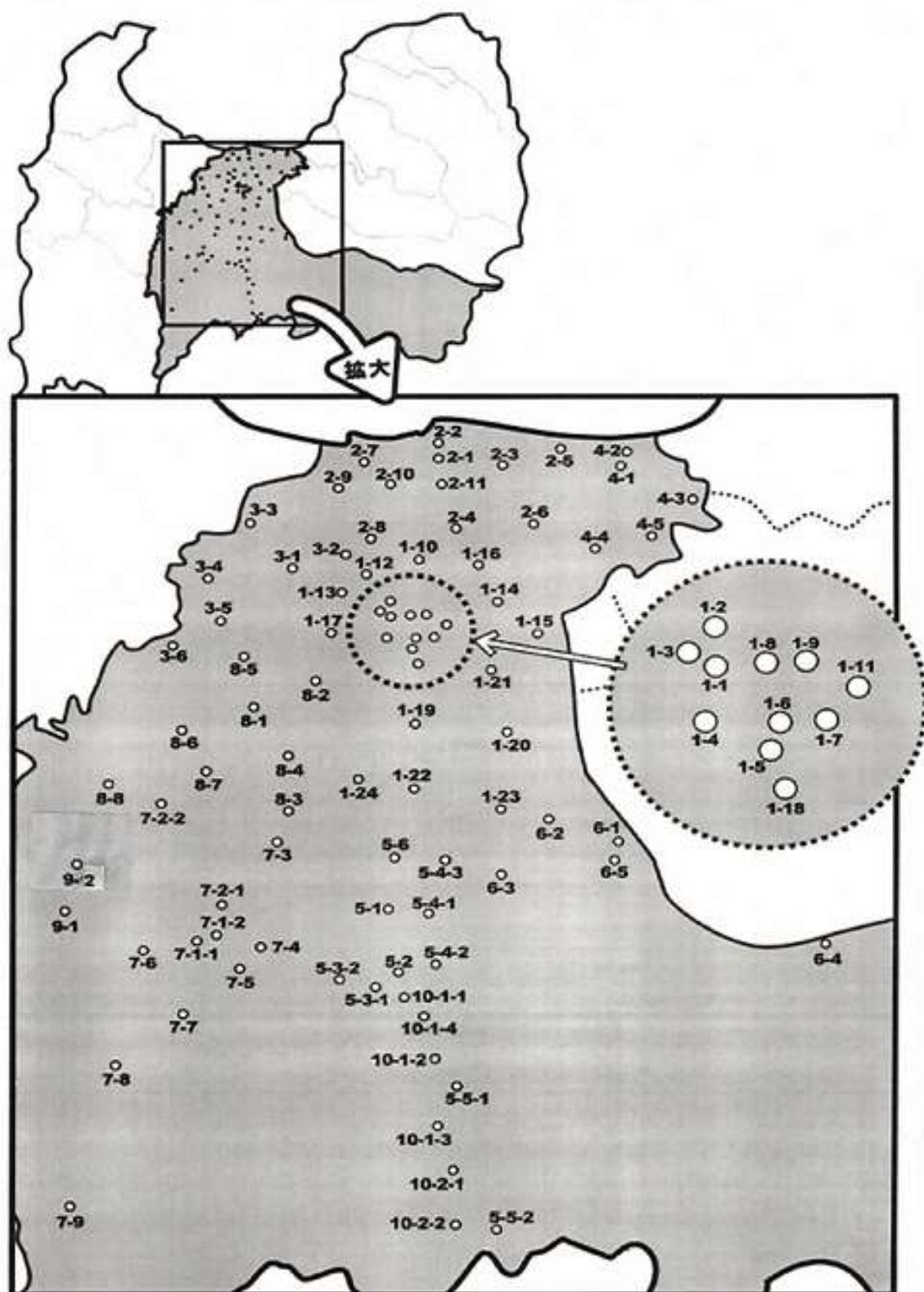
- ・ 災害時における相互応援協定（川崎市）
- ・ 災害時相互応援協定（高山市）
- ・ 災害時相互応援協定（金沢市、福井市）
- ・ 災害時における相互応援に関する協定（長野市）
- ・ 中核市との災害時相互応援協定
- ・ 富山県市町村消防相互応援協定
- ・ 富山市・富山県東部消防組合・立山町消防相互応援協定
- ・ 消防相互応援協定（飛騨市）
- ・ 消防相互応援協定（立山町）
- ・ 高速自動車国道北陸自動車道（小杉IC～富山西IC）における消防相互応援協定
- ・ 高速自動車国道北陸自動車道（流杉スマートIC～立山IC）における消防相互応援協定
- ・ 富山空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
- ・ 富山県消防防災ヘリコプター支援協定
- ・ 船舶火災の消火活動に関する業務協定
- ・ 富山県石油コンビナート等特別防災区域消防相互応援協定書
- ・ 携帯電話等による119番通報の対応に関する協定
- ・ 危険物移送取扱所との防災協定
- ・ ガス漏れ及び爆発事故防止対策に関する協定
- ・ 災害時における応急対策業務に関する協定
- ・ 災害救助犬の出動に関する協定書
- ・ 富山県ドクターヘリ事業に関する協定
- ・ 水難事故時における行方不明者の捜索協力に関する協定書
- ・ 令和6年能登半島地震による広域応援協定書



6. 消防機関配置図



7. 消防分団配置図



No.	番号	名 称
1	1-1	富山方面団 総曲輪分団
2	1-2	富山方面団 愛宕分団
3	1-3	富山方面団 安野屋分団
4	1-4	富山方面団 西田地方分団
5	1-5	富山方面団 星井町分団
6	1-6	富山方面団 五番町分団
7	1-7	富山方面団 清水町分団
8	1-8	富山方面団 八人町分団
9	1-9	富山方面団 柳町分団
10	1-10	富山方面団 奥田分団
11	1-11	富山方面団 東部分団
12	1-12	富山方面団 五福分団
13	1-13	富山方面団 桜谷分団
14	1-14	富山方面団 新庄分団
15	1-15	富山方面団 藤ノ木分団
16	1-16	富山方面団 広田分団
17	1-17	富山方面団 神明分団
18	1-18	富山方面団 堀川分団
19	1-19	富山方面団 蟻川分団
20	1-20	富山方面団 太田分団
21	1-21	富山方面団 山室分団
22	1-22	富山方面団 熊野分団
23	1-23	富山方面団 月岡分団
24	1-24	富山方面団 新保分団
25	2-1	北部方面団 岩瀬分団
26	2-2	北部方面団 海上分団
27	2-3	北部方面団 大広田分団
28	2-4	北部方面団 豊田分団
29	2-5	北部方面団 浜黒崎分団
30	2-6	北部方面団 針原分団
31	2-7	北部方面団 四方分団
32	2-8	北部方面団 八幡分団
33	2-9	北部方面団 倉垣分団
34	2-10	北部方面団 草島分団
35	2-11	北部方面団 萩浦分団
36	3-1	呉羽方面団 呉羽分団
37	3-2	呉羽方面団 長岡分団
38	3-3	呉羽方面団 寒江分団
39	3-4	呉羽方面団 老田分団
40	3-5	呉羽方面団 古沢分団
41	3-6	呉羽方面団 池多分団
42	4-1	水橋方面団 水橋西部分団
43	4-2	水橋方面団 水橋中部分団
44	4-3	水橋方面団 水橋東部分団

No.	番号	名 称
45	4-4	水橋方面団 三郷分団
46	4-5	水橋方面団 上条分団
47	5-1	大沢野方面団 上大久保分団
48	5-2	大沢野方面団 笹津分団
49	5-3-1	大沢野方面団 小羽分団須原
50	5-3-2	大沢野方面団 小羽分団下伏
51	5-4-1	大沢野方面団 船峠分団中部
52	5-4-2	大沢野方面団 船峠分団南部
53	5-4-3	大沢野方面団 船峠分団北部
54	5-5-1	大沢野方面団 下夕分団北部
55	5-5-2	大沢野方面団 下夕分団南部
56	5-6	大沢野方面団 大久保分団
57	6-1	大山方面団 上滝分団
58	6-2	大山方面団 大庄分団
59	6-3	大山方面団 福沢分団
60	6-4	大山方面団 小見分団
61	6-5	大山方面団 文珠寺分団
62	7-1-1	八尾方面団 八尾分団上新町
63	7-1-2	八尾方面団 八尾分団東町
64	7-2-1	八尾方面団 保内分団福島
65	7-2-2	八尾方面団 保内分団三田
66	7-3	八尾方面団 杉原分団
67	7-4	八尾方面団 黒瀬谷分団
68	7-5	八尾方面団 卯花分団
69	7-6	八尾方面団 室牧分団
70	7-7	八尾方面団 野積分団
71	7-8	八尾方面団 仁歩分団
72	7-9	八尾方面団 大長谷分団
73	8-1	婦中方面団 速星分団
74	8-2	婦中方面団 鶴坂分団
75	8-3	婦中方面団 宮川分団
76	8-4	婦中方面団 熊野分団
77	8-5	婦中方面団 朝日分団
78	8-6	婦中方面団 古里分団
79	8-7	婦中方面団 神保分団
80	8-8	婦中方面団 音川分団
81	9-1	山田方面団 山田南部分団
82	9-2	山田方面団 山田北部分団
83	10-1-1	細入方面団 細入北分団西笹津
84	10-1-2	細入方面団 細入北分団楡原
85	10-1-3	細入方面団 細入北分団庵谷
86	10-1-4	細入方面団 細入北分団岩稻
87	10-2-1	細入方面団 細入南分団片掛
88	10-2-2	細入方面団 細入南分団猪谷

総務



富山消防署南部出張所 新庁舎（令和5年9月運用開始）

社会環境の著しい変化に伴い、地域住民の消防に寄せる期待は、質・量ともに大きく変化しています。

消防機関として、これらに適切に対応するため、消防施設及び人員の効率的・重点的な整備充実に配慮しながら業務推進に努めています。

1. 消防予算

(1) 市一般会計予算と消防予算との比較

年度	区分	一般会計予算(A)	消防予算(B)	比率(B/A) %
6	当初予算	175,811,218	4,959,385	2.8

(2) 消防予算と職員・人口・世帯数との比較

年度	消防費 (千円)	消防職員1人当り		人口1人当り		1世帯当り	
		実数	1人当り(千円)	人口数	1人当り(円)	世帯数	世帯当り(円)
6	4,959,385	478	10,375	404,870	12,249	185,491	26,737

(3) 消防予算使途別比較

年度	消防費 (千円)	人件費と物件費			
		人件費(千円)	比率(%)	物件費等(千円)	比率(%)
6	4,959,385	3,761,082	75.8	1,198,303	24.2

(4) 令和6年度消防予算

令和6年度 消 防 予 算

歳入

(単位:千円)

款項	目	本年度	節		説 明
			区分	金額	
14.使用料及び 手 数 料		8,943		8,943	
1.使 用 料		54		54	
	8. 消 防 使 用 料	54	1. 消 防 使 用 料	54	敷地内占用料
2.手 数 料		8,889		8,889	
	6. 消 防 手 数 料	8,889	1. 消 防 手 数 料	8,889	1.危険物許認可等手数料 2.証明手数料
15.国庫支出金		28,368		28,368	
2.国庫補助金		28,368		28,368	
	7. 石 油 貯 蔵 施 設 立 地 対 策 等 交 付 金	24,914	1. 石 油 貯 蔵 施 設 立 地 対 策 等 交 付 金	24,914	1.防火衣更新 2.空気呼吸器 3.可燃性ガス測定器 4.潜水器具 5.自動体外式除細動器
	9. デジタル田園 都市国家構想 交 付 金	3,454	1. デジタル田園 都市国家構想 交 付 金	3,454	医療関係者間情報共有アプリ導入事業

款項	目	本年度	節		説 明
			区分	金額	
16.県支出金		1,000		1,000	
2.県補助金		1,000		1,000	
	7.消 防 費 補 助 金	1,000	1.消 防 費 補 助 金	1,000	消防団活動活性化補助金
17.財産収入		2,295		2,295	
1.財産運用収入		2,295		2,295	
	1.財 産 貸付収入	2,295	1.土地建物 貸付収入	2,295	自動販売機設置貸付料
20.諸収入		119,465		119,465	
4.受託事業収入	5.消防指令 業務受託 事業収入	7,974		7,974	立山町負担金
6.雑入		111,491		111,491	
	3.雑 入	111,491	3.雑 入	111,491	1.高速自動車国道救急業務費収入 2.消防団員等公務災害補償責任契約 共済基金収入 3.消防団員退職報償金収入 4.雇用保険料戻入金 5.その他の雑入
21.市債		558,900		558,900	
1.市債		558,900		558,900	
	8.消 防 債	558,900	1.消 防 債	558,900	1.消防・防災施設整備事業債 2.緊急防災・減災事業債 3.過疎対策事業債

歳出

目	本年度	本年度の財源内訳				節		説 明
		特定財源			一般財源	区分	金額	
		国(県)支出金	地方債	その他				
1 常備消防費	3,941,271	28,368	2,000	55,637	3,855,266	1.報 酬	1,411	職員報酬
						2.給 料	1,821,653	
						3.職員手当等	1,099,873	
						4.共 済 費	617,492	
						7.報 償 費	1,396	
						8.旅 費	2,164	普通旅費 特別旅費 市内出張費 職員費用弁償
						10.需 用 費	142,217	消耗品費 その他の需用費
						11.役 務 費	37,314	通信運搬費 その他の役務費
						12.委 託 料	123,814	危険物保安技術協会審査委託料 庁舎清掃等委託料
						13.使用料及び賃 借 料	11,450	発信地表示装置回線等 使用料他 寝具借上料等
						15.原 材 料 費	150	救助訓練塔補強材料費
						17.備品購入費	35,881	消防活動用資機材他
						18.負担金補助及び交付金	43,196	県消防学校入校負担金 県消防長会負担金、その他の負担金・補助金、用水負担金
26.公 課 費	3,260	免許登録費 重量税						

目	本年度	本年度の財源内訳				節		説 明
		特定財源			一般財源	区分	金額	
		国(県)支出金	地方債	その他				
2 非常備消防費	342,726	1,000	0	71,805	269,921	1.報酬	157,844	年額報酬 出勤報酬
						5.災害補償費	5,466	災害補償費
						7.報 償 費	62,282	消防団員退職報償金 その他の報償費
						8.旅 費	7	消防音楽隊 福井市派遣事業
						10.需 用 費	30,293	消耗品費 その他の需用費
						11.役 務 費	2,108	通信運搬費 その他の役務費
						12.委 託 料	6,779	消防出初式業務委託料 その他の委託料
						13.使用料及び賃借料	1,357	放送受信料 その他の使用料 借地料
						15.原 材 料 費	155	消防団消防操法大会設 営資材費
						17.備品購入費	4,397	消防用ホース購入費
						18.負担金補助及び交付金	69,857	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 その他の負担金 分団運営交付金
						26.公 課 費	2,181	重量税

目	本年度	本年度の財源内訳				節		説明
		特定財源			一般財源	区分	金額	
		国(県)支出金	地方債	その他				
3 消防施設費	675,388	0	556,900	3,261	115,227	8.旅 費	187	消防車両中間検査旅費
						10.需 用 費	75,449	防火水槽等修繕費 消防ポンプ車等修繕費 庁舎等修繕費
						11.役 務 費	333	常備消防拠点建設関係費 自賠責保険料
						12.委 託 料	69,729	常備消防拠点建設関係委託料 分団器具置場建設関係委託料 消防艇関係委託料
						13.使用料及び賃借料	251	車両リース料
						14.工事請負費	173,675	常備消防拠点建設関係費 分団器具置場建設関係費
						17.備品購入費	335,497	大型化学高所放水車購入費 泡原液搬送車購入費 消防ポンプ車購入費 高規格救急車購入費
						18.負担金補助及び交付金	19,773	消火栓増設補修等負担金
						26.公 課 費	494	重量税
計	4,801,843	41,497	446,400	128,067	418,879			

(5) 消防職員の特殊勤務手当

(令和6年度)

種 類	支 給 基 準		対 象 業 務(従事者)
消 防 業 務 手 当	1回につき	300円	火災消火等の作業従事者
	1回につき	400円	火災等出動の運転従事者、10m以上の高所作業従事者及び救助業務従事者
	1回出動につき	400円	救急救命業務(救急救命士)
	1回出動につき	200円	救急業務
	1回につき	750円	水難救護業務(潜水業務以外は2時間以上)
	日額	200円	消防艇業務
深 夜 ・ 早 朝 勤 務 手 当	1回につき	410円	深夜又は早朝の勤務
現 場 技 術 指 導 等 手 当	日額	400円	作業環境が劣悪な場所での作業従事者
	日額	250円	冬期間における屋外での工事監督、技術指導等業務従事者
用 地 交 渉 等 手 当	日額	500円	用地交渉業務

2. 消防庁舎の状況

名 称	所 在 地	敷 地 面 積 ㎡	種 別	構 造	建 築 面 積 ㎡	延 べ 面 積 ㎡	竣 工 年 月
消 防 局 富 山 消 防 署 合 同 庁 舎	今泉191の1	9,426.95	庁 舎	SRC造4階建	1,435.78	4,145.83	H1/11月
			車 庫	S造平屋建	149.25	149.25	
富 山 消 防 署 中 分 署	奥田町20の22	1,918.78	庁 舎	RC造2階建	614.01	1,253.97	H8/3月
			機 械 室	S造平屋建	40.00	40.00	
富 山 消 防 署 東 部 出 張 所	中市二丁目8の70	3,199.99	庁 舎	S造2階建	553.67	891.29	H18/6月
富 山 消 防 署 南 部 出 張 所	悪王寺25の1	1,524.76	庁 舎	S造2階建	473.76	699.75	R5/9月
富 山 消 防 署 北 部 出 張 所	上飯野28の2	1,814.00	庁 舎	RC造2階建	284.27	384.33	S55/3月
			ポンプ性能検査場	S造平屋建	156.00	156.00	
富 山 北 消 防 署	高畠町一丁目10の30	4,423.00	庁 舎	RC造2階建	989.83	1,552.37	H11/9月
			倉 庫	S造2階建	81.60	135.47	
富 山 北 消 防 署 和 合 出 張 所	四方荒屋1500-1	2,960.12	庁 舎	S造3階建	563.49	1,142.95	H27/11月
富 山 北 消 防 署 海 上 分 遣 所	岩瀬入船町1の6	124.01	庁 舎	S造2階建	103.32	206.64	S55/12月
呉 羽 消 防 署	呉羽町2417の5	5,445.49	庁 舎	S造2階建	922.86	1,352.53	H23/12月
水 橋 消 防 署	水橋館町420の1	5,457.51	庁 舎	S造2階建	858.26	1,188.90	H21/11月
			災害対応資機材 専 用 倉 庫	S造2階建	100.00	150.00	
大 沢 野 消 防 署	上二杉202	6,033.32	庁 舎	S造2階建	1,043.82	1,350.78	R2/7月
大 沢 野 消 防 署 細 入 分 遣 所	楡原1101の1 細入総合行政センター 敷地内		庁 舎	S造平屋建	231.40	219.22	H18/12月
大 山 消 防 署	花崎737	7,184.50	庁 舎	RC造2階建	988.80	1,487.26	S60/7月
大 山 消 防 署 小 見 分 遣 所	小見255の15	1,515.64	庁 舎	S造平屋建	252.65	245.11	H20/3月
八 尾 消 防 署	八尾町福島816-1	4,892.00	庁 舎	S造2階建	969.34	1,224.38	H29/10月
婦 中 消 防 署	婦中町笹倉128	5,477.22	庁 舎	RC造2階建	1,225.67	2,095.25	H7/12月
			倉 庫	S造2階建	113.56	184.10	
婦 中 消 防 署 山 田 分 遣 所	山田小島2697の4	860.26	庁 舎	S造平屋建	256.45	250.13	H19/11月

3. 職員の配置状況

(令和6年4月1日)

		計	再任用職員	消 防 吏 員							
				消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
定 数		474									
合 計		468	7	1	7	22	51	88	146	6	147
消 防 局	消防局長・次長	2		1	1						
	総 務 課	14			1		3	5	4		1
	総 務 課 付	23					1	1	2		19
	予 防 課	11				2		4	5		
	警 防 課	11			1		3	3	4		
	通 信 指 令 課	17				2	3	3	9		
	小 計	78	0	1	3	4	10	16	24		20
富 山 署	本 署	68			1	3	12	9	21		22
	中 分 署	27				1	4	3	10		9
	東部出張所	18	1				1	4	6		7
	南部出張所	17	2				1	4	6	2	4
	北部出張所	18	1				1	4	6		7
	小 計	148	4		1	4	19	24	49	2	49
富 山 北 署	本 署	35	1		1	4	7	3	10		10
	和合出張所	19					1	5	7		6
	海上分遣所	4					2	2			
	小 計	58	1		1	4	10	10	17		16
呉 羽 署		26			1	1	2	5	9	1	7
水 橋 署		26				2	2	5	9	1	7
大 沢 野 署	本 署	28			1	1	2	5	8	1	10
	細入分遣所	8						3	1		4
	小 計	36	0		1	1	2	8	9	1	14
大 山 署	本 署	27	1			2	2	5	10	1	7
	小見分遣所	7	1					2	1		4
	小 計	34	2			2	2	7	11	1	11
八 尾 署		26				2	2	5	9		8
婦 中 署	本 署	28				2	2	6	7		11
	山田分遣所	8						2	2		4
	小 計	36	0			2	2	8	9		15

※ 総務課付／県消防防災航空隊 2名、研修派遣等(救命士、県消防学校)21名

※ 県消防学校派遣者 2名、市防災危機管理課出向者 1名、及び立山町消防本部からの派遣職員4名は、定数外職員のため含まず。

4. 職員の年齢状況

(令和6年4月1日)

	計	消 防 吏 員								年 齢 別 構 成 率
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平 均 年 齢	37.8	59.0	56.8	54.0	49.2	44.9	38.1	35.7	26.0	
職 員 数	468	1	7	22	51	88	146	6	147	
18歳以上21歳未満	15								15	3.21
21 " 26 "	53								53	11.32
26 " 31 "	52						1		51	11.11
31 " 36 "	75						45	4	26	16.03
36 " 41 "	97					18	75	2	2	20.73
41 " 46 "	57				8	37	12			12.18
46 " 51 "	60			5	26	21	8			12.82
51 " 56 "	39		3	10	13	10	3			8.33
56 歳 以 上	20	1	4	7	4	2	2			4.27

※定数外職員7名、再任用職員7名除く

5. 職員の勤続年数状況

(令和6年4月1日)

	計	消 防 吏 員								年 齢 別 構 成 率
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平均勤続年数	17.2	41.0	36.4	34.5	29.2	24.0	17.2	17.0	5.4	
職 員 数	468	1	7	22	51	88	146	6	147	
5 年 未 満	69								69	14.74
5年以上10年未満	56						4		52	11.97
10 " 15 "	59						34		25	12.61
15 " 20 "	112					24	82	5	1	23.93
20 " 25 "	53				11	29	12	1		11.32
25 " 30 "	42			3	16	18	5			8.97
30 " 35 "	50		2	8	18	14	8			10.68
35 年 以 上	27	1	5	11	6	3	1			5.77

※定数外職員7名、再任用職員7名除く

6. 職員の任免状況

区 分 \ 階級別		計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
令和6年度	採 用	19								19
	昇 任	33		4	8	7	7	7		
令和5年度	退 職	15		4	3		1	2		5

7. 職員の公務災害発生状況

(令和5年度)

区分 \ 療養期間	計	1週間未満	1週間以上 2週間未満	2週間以上	災害別構成率 (%)
計	3	0	1	2	100.0
火 災					
救 急					
訓 練	2			2	66.7
その他			1		33.3

※災害別構成率は、小数点第2位切り捨て

8. 消防音楽隊

(1) 活動状況

(令和5年度)

活動内容	計	消防関係	市関係	その他	訓練
活動数	90	5	2	11	72

※通常訓練の他、パート訓練も随時実施。(活動数にパート訓練は含まず)

(2) 組織表

(令和6年4月1日)

計	隊長	副隊長	楽長	隊員
34	1	2	1	30

(3) 構成表

パート別	計	隊長	指揮者	ソプラノサククス	アルトサククス	テナーサククス	バリトンサククス	トランペット	ホルン	ユーホニウム	トロンボーン	チューバ	パーカッション
実数	34	1	(3)	1	2	2	2	6	4	3	4	2	7

() は兼務

(4) カラーガード隊(愛称スノーフェアリス)

私たちは平成元年8月の富山市制100周年記念「消防防災フェスティバル」に消防音楽隊の専属サークルとして発足しました。

その後、平成3年4月にカラーガード隊員を広報担当女性消防団員に任命し、現在は「消防出初式」や「チンドンパレード」などにカラーガード演技での出演や、楽器の演奏など、各種行事やイベントなどに幅広く参加しております。

カラーガード隊7名(令和6年4月1日)



予 防

火災を未然に防ぐために、出前講座等を積極的に開催し、防火安全指導を行うとともに、住宅防火訪問等による住宅防火対策を推進しています。

また、事業所に対しては建物の用途や規模に応じた消防用設備等の設置指導や危険物施設の作業従事者に対する保安教育及び事故防止対策の実施促進を図るとともに、法令改正等を踏まえた防火安全対策を推進しています。

今後も、市民の皆様の大切な生命や財産を火災から守るために、防火安全対策の推進に努めてまいります。



防火対象物への立入検査

1. 政令別表第1に基づく防火対象物状況

(令和6年3月31日)

防火対象物数計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
13,759	8,459	1,362	784	445	605	304	565	1,235

2. 中高層（地下）建物状況

(令和6年3月31日)

		計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
地	計	775	673	36	25	5	9	4	8	15
	5階	293	221	25	17	2	5	3	8	12
	6階	140	128	5	2	2	1			2
	7階	104	94	3	3		3			1
	8階	61	57	2	1			1		
	9階	44	41	1	2					
	10階	50	49			1				
	11階	24	24							
	12階	6	6							
	13階	5	5							
	14階	30	30							
	15階	10	10							
	18階	3	3							
	19階	1	1							
	20階	1	1							
	23階	2	2							
	26階	1	1							
下	計	396	277	12	24	5	25	19	23	11
	1階	358	258	10	24	5	22	14	14	11
	2階	30	18	2			2	3	5	
	3階	4	1					1	2	
	4階	3					1		2	
	5階	0								
	6階	1						1		

3. 消防法第7条に基づく建築同意事務状況

(令和5年度)

建築同意数計	予防課	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
648	90	427	39	14	17	13	5	13	30

4. 危険物製造所等の施設数

(令和6年3月31日)

令和6年8月31日

製造所等		署別	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
計	2,155	932	441	93	91	105	52	151	290	
製造所	27	6	7	0	0	0	0	1	13	
貯蔵所	1,537	652	333	63	65	79	31	118	196	
取扱所	591	274	101	30	26	26	21	32	81	

5. 法令に基づく届出処理状況

(令和5年度)

届出処理件数計	予防課	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
14,236	180	8,023	1,425	791	514	792	433	723	1,355

6. 住宅防火訪問等実施状況

(令和5年度)

	計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
計	7,951	3,538	875	724	288	569	600	701	656
住宅	7,031	3,119	766	663	258	502	560	607	556
ひとり暮らし 高齢者世帯	920	419	109	61	30	67	40	94	100

7. 出前講座開催状況

(令和5年度)

講 座 名	回 数	延 べ 人 数
火災から身を守るために	79	2,377
知ってて安心防火の知識 (高齢者の防火教室)	5	164
消火器について (消火器体験実習会)	29	2,255

8. 広報活動実施状況

(令和5年度)

区分	実施日及び期間
危険物安全週間	6月 2日 ~ 6月8日
防災の日(防災週間)	9月 1日(8月30日~9月 5日)
救急の日(救急医療週間)	9月 9日(9月 4日~9月10日)
119番の日	9月 9日(9月3日~9月9日)
秋の火災予防運動	11月 9日 ~ 11月15日
歳末警戒 消 防 通 常 警 戒 消 防 特 別 警 戒	12月21日 ~ 12月27日 12月28日 ~ 12月31日
富山市消防出初式	令和6年1月1日能登半島地震の発生に伴い、中止
富山市消防海上出初式	令和6年1月1日能登半島地震の発生に伴い、中止
第70回文化財防火デー	1月26日
消防記念日	3月 7日
春の火災予防運動	3月20日 ~ 3月26日

9. 幼年消防クラブの結成状況

(令和6年4月1日)

	計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
クラブ数	115	58	12	10	7	7	3	5	13
クラブ員数	8,222	4,888	855	436	216	460	110	311	946

10. 少年消防クラブの結成状況

(令和6年4月1日)

	計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
クラブ数	88	36	13	7	6	6	5	4	11
クラブ員数	12,609	7,150	1,463	693	343	645	221	502	1,592

11. 女性防火クラブの結成状況

(令和6年4月1日)

	計	富山	富山北	呉羽	水橋	大沢野	大山	八尾	婦中
クラブ数	39	20	7		2	5	3		2
クラブ員数	13,170	11,337	92		36	31	1,634		40

警

防

市民の生命・財産を火災その他の災害から保護するため、火災防御計画の樹立・見直しや各種の訓練を実施しました。

消防装備としては、災害現場活動における安全面と機能面の充実を図るとともに、消防体制の強化を図りました。

消防車両については、消防ポンプ車及び高規格救急車等を更新整備して災害出動態勢の強化を図りました。

消防水利については、消火栓を新設し、消防水利の充実強化を図りました。

また、防火水槽、消火栓、標識の修繕等、消防水利の保全に努めました。



火災防御訓練

1. 消防車両等配置状況

(令和6年4月1日)

種別 所属別		ポンプ車・特殊車・救急車・他																				船舶消
		計	普通 ポン プ 車	水 槽 付 ポン プ 車	梯 子 車	化 学 車	大 型 高 所 放 水 車	泡 原 液 搬 送 車	救 助 工 作 車	小 型 動 力 ポン プ 付 水 槽 車	支 援 車	救 急 車	隊 員 搬 送 車	防 災 指 導 車	資 機 材 搬 送 車	小 型 動 力 ポン プ 積 載 車	燃 料 補 給 車	指 揮 車	広 報 車	そ の 他	防 艇	
計		199	92	14	4	4	1	1	3	1	1	20	1	2	11	9	1	9	0	25	1	
常 備	小 計	109	13	14	4	4	1	1	3	1	1	20	1	2	11	0	1	9	0	23	1	
	消 防 局	17	1	4								3	1	1				1		6		
	富 山 消 防 署	16	1	1	2				1	1	1	2		1	1			1		4		
	〃 中 分 署	6	1		1	1						1								2		
	〃 東部出張所	4		1	1							1								1		
	〃 南部出張所	3		1								1								1		
	〃 北部出張所	3		1								1								1		
	富山北消防署	7	1			1			1			1			1			1		1		
	〃 和合出張所	6		1		1	1	1				1								1		
	〃 海上分遣所	1													1						1	
	呉 羽 消 防 署	6	1	1								1			1			1		1		
	水 橋 消 防 署	6	1	1								1			1			1		1		
	大沢野消防署	7	1	1					1			1			1			1		1		
	〃 細入分遣所	2	1									1										
	大 山 消 防 署	8	1	1								1			2		1	1		1		
	〃 小見分遣所	2	1									1										
	八 尾 消 防 署	6	1	1								1			1			1		1		
	婦 中 消 防 署	7	1			1						1			2			1		1		
	〃 山田分遣所	2	1									1										
非 常 備	小 計	90	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	2	0	
	富 山 方 面 団	24	24																			
	北 部 方 面 団	11	11																			
	呉 羽 方 面 団	6	6																			
	水 橋 方 面 団	5	5																			
	大沢野方面団	10	7													3						
	大 山 方 面 団	5	5																			
	八 尾 方 面 団	11	9													2						
	婦 中 方 面 団	8	8																			
	山 田 方 面 団	2	2																			
	細 入 方 面 団	8	2													4				2		

2. 所属別車両一覧

(1) 常備

(令和6年4月1日)

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
消 防 局	消 防 局 乗 用 車		
	消 防 局 指 揮 1 号 車	支 援 車 IV 型	
	消 防 局 指 揮 2 号 車		
	消 防 局 指 揮 3 号 車		
	消 防 局 指 揮 4 号 車		
	消 防 局 指 揮 5 号 車		
	消防局予防車(ヴォクシー)		
	消 防 局 隊 員 搬 送 車		
	消 防 局 救 急 指 導 車		
	消 防 局 1 号 車	水 I - A	A - 2
	消 防 局 2 号 車	化 学 車 II 型	A - 2
	消 防 局 3 号 車	水 I - B	A - 2
	消 防 局 4 号 車	化 学 車 II 型	A - 2
	消 防 局 5 号 車	C D - I	A - 2
	消 防 局 救 急 1 号 車	高 規 格	
	消 防 局 救 急 2 号 車	高 規 格	
	消 防 局 救 急 3 号 車	高 規 格	
富 山 署	富 山 1 号 車	水 I - B	A - 2
	富 山 2 号 車	C D - I	A - 2
	富 山 水 槽 車	水 (1 0 t)	B - 2 積 載
	富 山 救 助 工 作 車	救助工作車Ⅲ型	
	富 山 支 援 車	支 援 車 Ⅲ 型	
	富 山 4 0 m 梯 子 車	3 8 m 級	
	富 山 1 5 m 梯 子 車	1 5 m 級	
	富 山 救 急 車	高 規 格	
	富 山 救 急 2 号 車	高 規 格	
	富 山 指 揮 車		
	富 山 査 察 1 号 車		
	富 山 査 察 2 号 車		
	富 山 査 察 3 号 車		
	富 山 連 絡 車		
	富 山 資 機 材 搬 送 車	支 援 車 II 型	
	富 山 防 災 指 導 車		

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
中 分 署	中 分 1 号 車	化 学 車 II 型	A - 2
	中 分 2 号 車	C D - I	A - 2
	中 分 救 急 車	高 規 格	
	中 分 5 0 m 梯 子 車	3 8 m 級	
	中 分 査 察 車		
	中 分 査 察 車 兼 連 絡 車		
東 部 出 張 所	東 部 車	水 I - B	A - 2
	東 部 救 急 車	高 規 格	
	東 部 1 5 m 梯 子 車	1 5 m 級	
	東 部 連 絡 車		
南 部 出 張 所	南 部 車	水 I - B	A - 2
	南 部 救 急 車	高 規 格	
	南 部 連 絡 車		
北 部 出 張 所	北 部 車	水 I - A	A - 2
	北 部 救 急 車	高 規 格	
	北 部 連 絡 車		
富 山 北 署	富 山 北 1 号 車	化 学 車 II 型	A - 2
	富 山 北 2 号 車	C D - I	A - 2
	富 山 北 救 助 工 作 車	救 助 工 作 車 II 型	
	富 山 北 救 急 車	高 規 格	
	富 山 北 指 揮 車		
	富 山 北 査 察 車		
	富 山 北 資 機 材 搬 送 車		
和 合 出 張 所	和 合 車	水 I - B	A - 2
	和 合 高 所 放 水 車		A - 2
	和 合 大 型 化 学 車	化 学 車 大 I 型	A - 1
	和 合 泡 原 液 搬 送 車	薬 液 (5 t)	
	和 合 救 急 車	高 規 格	
	和 合 連 絡 車		
海 上 分 遣 所	海 上 車		
呉 羽 署	呉 羽 1 号 車	水 I - B	A - 2
	呉 羽 2 号 車	C D - I	A - 2
	呉 羽 救 急 車	高 規 格	
	呉 羽 指 揮 車		
	呉 羽 査 察 車 兼 連 絡 車		
	呉 羽 資 機 材 搬 送 車		

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
水 橋 署	水 橋 1 号 車	水 I - B	A - 2
	水 橋 2 号 車	C D - I	A - 2
	水 橋 救 急 車	高 規 格	
	水 橋 資 機 材 搬 送 車		
	水 橋 指 揮 車		
	水 橋 査 察 車 兼 連 絡 車		
大 沢 野 署	大 沢 野 1 号 車	水 I - B	A - 2
	大 沢 野 2 号 車	C D - I	A - 2
	大 沢 野 救 急 車	高 規 格	
	大 沢 野 救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	
	大 沢 野 資 機 材 搬 送 車		
	大 沢 野 指 揮 車		
	大 沢 野 査 察 車		
細 入 分 遣 所	細 入 車	C D - I	A - 2
	細 入 救 急 車	高 規 格	
大 山 署	大 山 1 号 車	水 I - B	A - 2
	大 山 2 号 車	C D - I	A - 2
	大 山 資 機 材 搬 送 1 号 車		
	大 山 資 機 材 搬 送 2 号 車		
	大 山 救 急 車	高 規 格	
	大 山 燃 料 補 給 車	少 量 ロ ー リ ー	
	大 山 指 揮 車		
	大 山 査 察 車		
小 見 分 遣 所	小 見 車	C D - I	A - 2
	小 見 救 急 車	高 規 格	
八 尾 署	八 尾 1 号 車	水 I - B	A - 2
	八 尾 2 号 車	C D - I	A - 2
	八 尾 資 機 材 搬 送 車		
	八 尾 救 急 車	高 規 格	
	八 尾 指 揮 車		
	八 尾 査 察 車 兼 連 絡 車		
婦 中 署	婦 中 1 号 車	化 学 車 Ⅱ 型	A - 2
	婦 中 2 号 車	C D - I	A - 2
	婦 中 資 機 材 搬 送 1 号 車		
	婦 中 資 機 材 搬 送 2 号 車		
	婦 中 救 急 車	高 規 格	
	婦 中 指 揮 車		
	婦 中 査 察 車		

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
山 田 分 遣 所	山 田 車	C D - I	A - 2
	山 田 救 急 車	高 規 格	

(2) 非常備

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
富 山 方 面 団	総 曲 輪 分 団 車	C D - I	A - 2
	愛 宕 分 団 車	C D - I	A - 2
	安 野 屋 分 団 車	C D - I	A - 2
	西 田 地 方 分 団 車	C D - I	A - 2
	星 井 町 分 団 車	C D - I	A - 2
	五 番 町 分 団 車	C D - I	A - 2
	清 水 町 分 団 車	C D - I	A - 2
	八 人 町 分 団 車	C D - I	A - 2
	柳 町 分 団 車	C D - I	A - 2
	奥 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	東 部 分 団 車	C D - I	A - 2
	五 福 分 団 車	C D - I	A - 2
	桜 谷 分 団 車	C D - I	A - 2
	新 庄 分 団 車	C D - I	A - 2
	藤 ノ 木 分 団 車	C D - I	A - 2
	広 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	神 明 分 団 車	C D - I	A - 2
	堀 川 分 団 車	C D - I	A - 2
	蜷 川 分 団 車	C D - I	A - 2
	太 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	山 室 分 団 車	C D - I	A - 2
	熊 野 分 団 車	C D - I	A - 2
	月 岡 分 団 車	C D - I	A - 2
	新 保 分 団 車	C D - I	A - 2
北 部 方 面 団	岩 瀬 分 団 車	C D - I	A - 2
	大 広 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	豊 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	浜 黒 崎 分 団 車	C D - I	A - 2
	針 原 分 団 車	C D - I	A - 2
	四 方 分 団 車	C D - I	A - 2
	倉 垣 分 団 車	C D - I	A - 2
	八 幡 分 団 車	C D - I	A - 2
	草 島 分 団 車	C D - I	A - 2
	海 上 分 団 車	C D - I	A - 2
呉 羽 方 面 団	菰 浦 分 団 車	C D - I	A - 2
	呉 羽 分 団 車	C D - I	A - 2
	長 岡 分 団 車	C D - I	A - 2
	寒 江 分 団 車	C D - I	A - 2
	老 田 分 団 車	C D - I	A - 2
	古 沢 分 団 車	C D - I	A - 2
水 橋 方 面 団	池 多 分 団 車	C D - I	A - 2
	水 橋 西 部 分 団 車	C D - I	A - 2
	水 橋 中 部 分 団 車	C D - I	A - 2
	水 橋 東 部 分 団 車	C D - I	A - 2
	三 郷 分 団 車	C D - I	A - 2
	上 条 分 団 車	C D - I	A - 2

所 属	車 両 名 称 等	型 別 等	ポ ン プ 性 能
大 沢 野 方 面 団	上 大 久 保 分 団 車	C D - I	A - 2
	笹 津 分 団 車	C D - I	A - 2
	小 羽 (須 原) 分 団 車	C D - I	A - 2
	小 羽 (下 伏) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 2 積 載
	船 嶺 (中 部) 分 団 車	C D - I	A - 2
	船 嶺 (南 部) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 2 積 載
	船 嶺 (北 部) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 2 積 載
	下 夕 (北 部) 分 団 車	C D - I	A - 2
	下 夕 (南 部) 分 団 車	C D - I	A - 2
細 入 方 面 団	大 久 保 分 団 車	C D - I	A - 2
	細 入 北 (楡 原) 分 団 車	C D - I	A - 2
	細 入 北 (西 笹 津) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 3 積 載
	細 入 北 (庵 谷) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 3 積 載
	細 入 北 (岩 稻) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 3 積 載
	細 入 北 搬 送 車	ト ラ ッ ク	
	細 入 南 (猪 谷) 分 団 車	C D - I	A - 2
	細 入 南 (片 掛) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 3 積 載
大 山 方 面 団	細 入 南 搬 送 車	ト ラ ッ ク	
	上 滝 分 団 車	C D - I	A - 2
	大 庄 分 団 車	C D - I	A - 2
	福 沢 分 団 車	C D - I	A - 2
	小 見 分 団 車	C D - I	A - 2
八 尾 方 面 団	文 珠 寺 分 団 車	C D - I	A - 2
	八 尾 (1 部) 分 団 車	C D - I	A - 2
	八 尾 (2 部) 分 団 車	C D - I	A - 2
	保 内 分 団 車	C D - I	A - 2
	保 内 (三 田) 分 団 車	ト ラ ッ ク	B - 3 積 載
	杉 原 分 団 車	C D - I	A - 2
	黒 瀬 谷 分 団 車	C D - I	A - 2
	卯 花 分 団 車	C D - I	A - 2
	室 牧 分 団 車	C D - I	A - 2
	野 積 分 団 車	C D - I	A - 2
	仁 歩 分 団 車	C D - I	A - 2
婦 中 方 面 団	大 長 谷 分 団 車	デ ッ キ バ ン	B - 3 積 載
	速 星 分 団 車	C D - I	A - 2
	鵜 坂 分 団 車	C D - I	A - 2
	宮 川 分 団 車	C D - I	A - 2
	熊 野 分 団 車	C D - I	A - 2
	朝 日 分 団 車	C D - I	A - 2
	古 里 分 団 車	C D - I	A - 2
	神 保 分 団 車	C D - I	A - 2
山 田 方 面 団	音 川 分 団 車	C D - I	A - 2
	山 田 南 部 分 団 車	C D - I	A - 2
	山 田 北 部 分 団 車	C D - I	A - 2

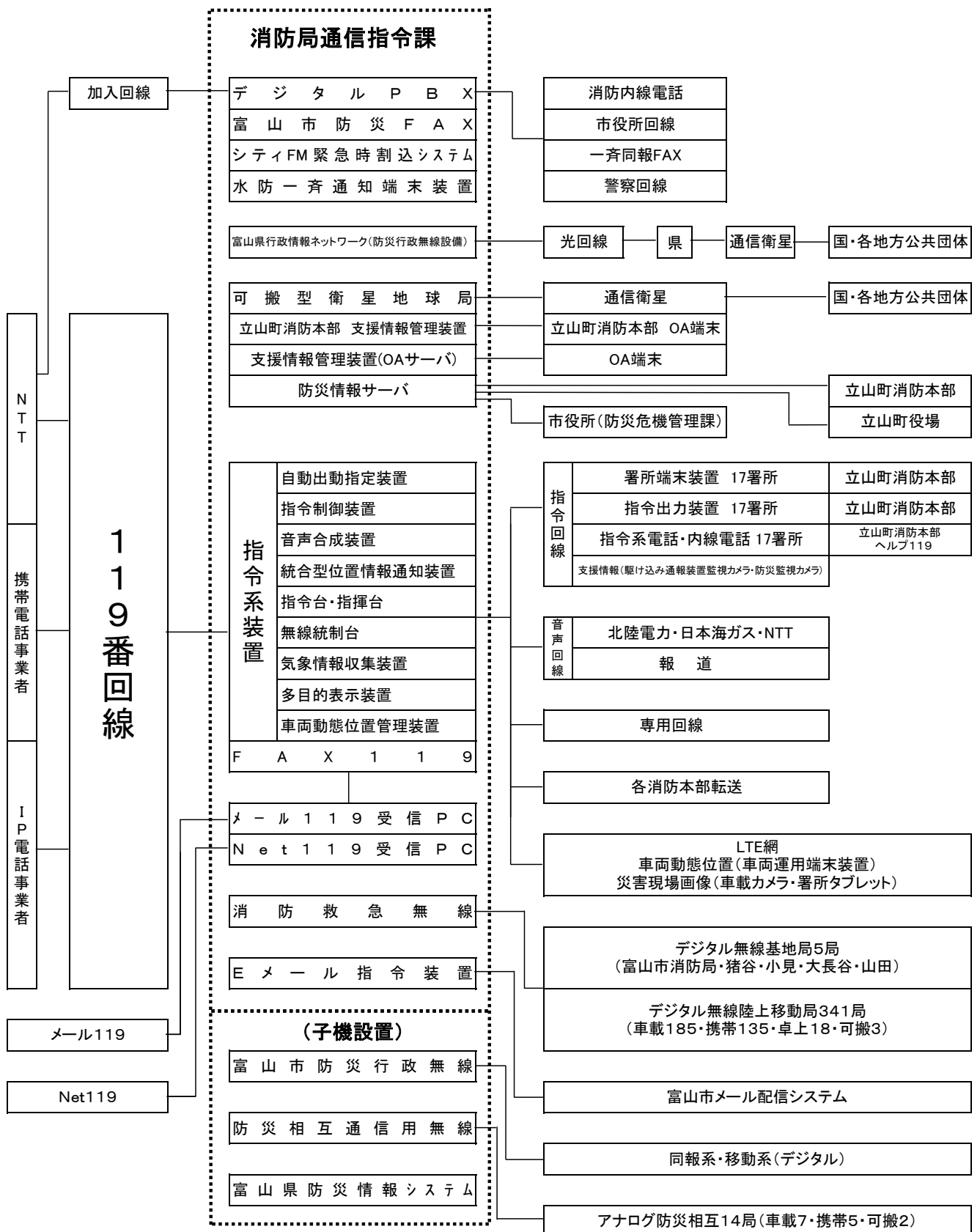
通 信 指 令

119番の受信から災害発生場所の決定、出動車両の選別等を迅速・的確に行う消防総合情報管理システム及び消防救急デジタル無線システムを運用しています。

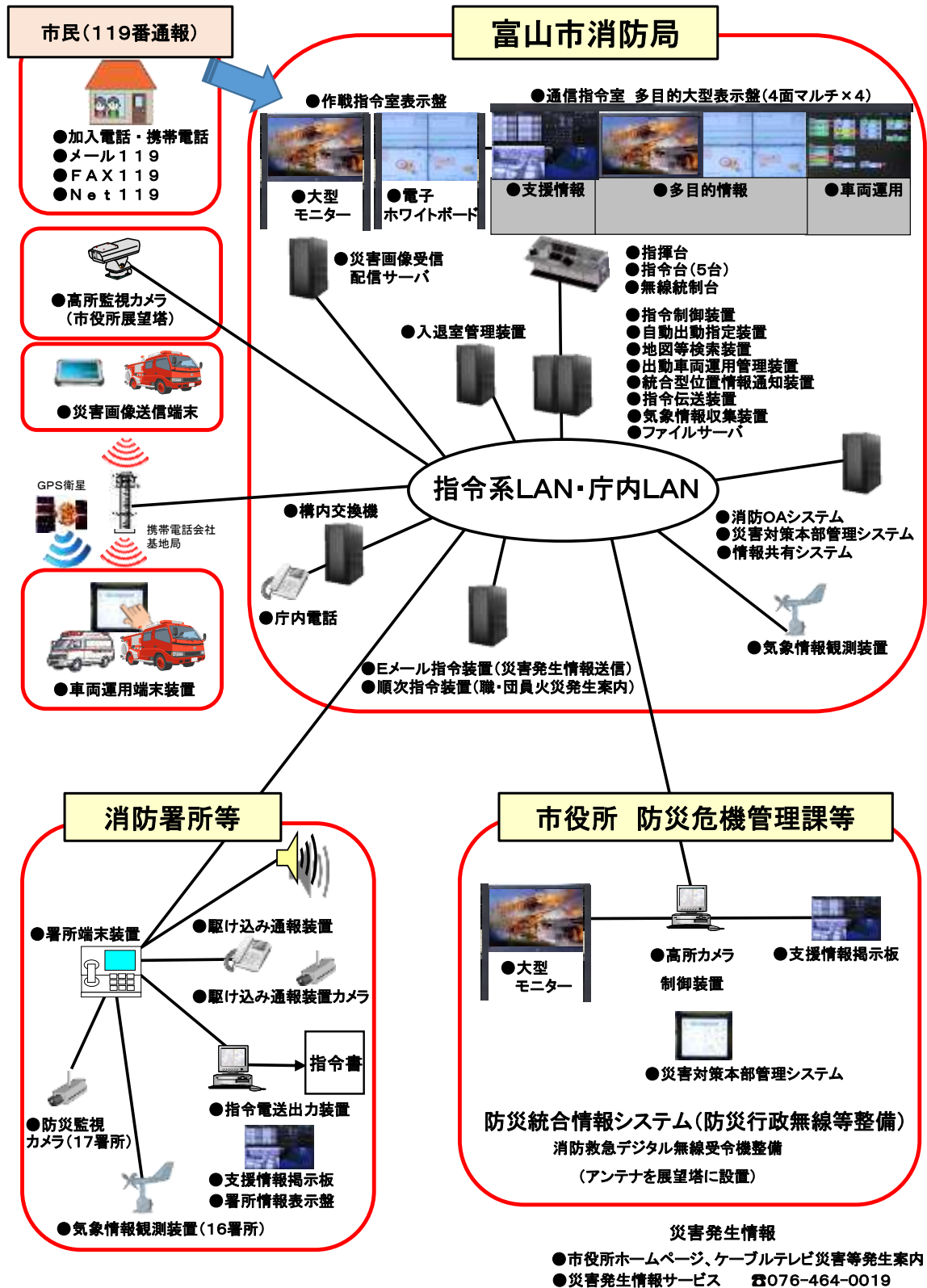
この二つのシステムを円滑・効率的に活用し、これからも市民の皆様のさらなる「安心・安全」の確保に努めます。



消防通信系統図



消防総合情報管理システムイメージ図



無 線 局

活動波

- (1) 活動波 1 c h
- (2) 活動波 2 c h
- (3) 活動波 3 c h
- (4) 活動波 4 c h
- (5) 活動波 5 c h
- (6) 活動波 6 c h

共通波

- (7) 統制波 1 c h
- (8) 統制波 2 c h
- (9) 統制波 3 c h
- (10) 主運用波 1 c h (他県)
- (11) 主運用波 2 c h (他県)
- (12) 主運用波 3 c h (他県)
- (13) 主運用波 4 c h (他県)
- (14) 主運用波 5 c h (富山県波)
- (15) 主運用波 6 c h (他県)
- (16) 主運用波 7 c h (他県)

無線局数(基地局・陸上移動局)

(令和6年4月1日)

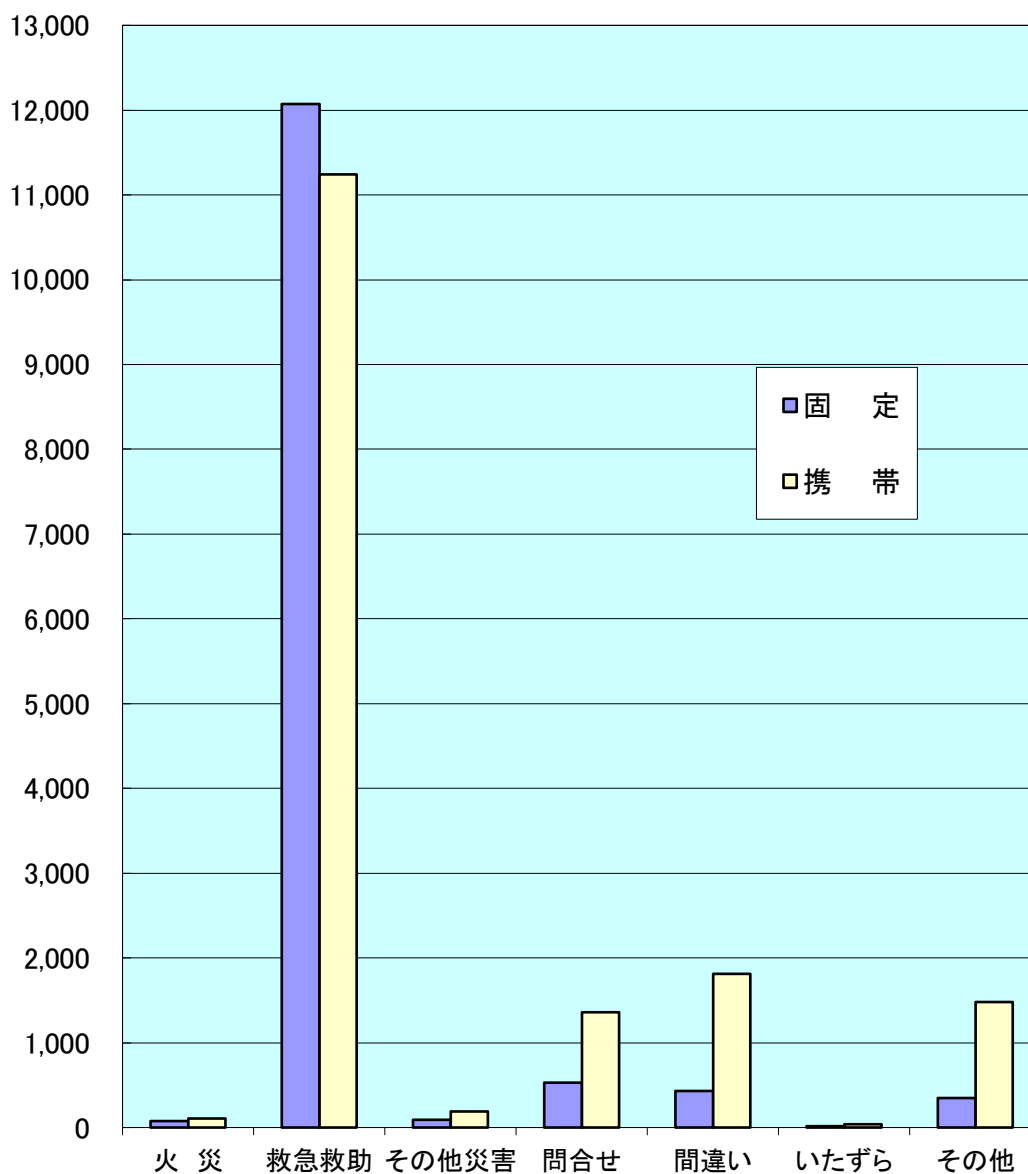
	デジタル無線							アナログ無線	
	基地局 (10W)	移動局						防災相互波	船 載
		車 載 (10W)	車 載 (5W)	携 帯 (5W)	卓 上 (10W)	可 搬 (10W)	分団車載 (10W)		
本部	1	16	1	10	1	2		4	
富山		24		42	5	1	24	1	
富山北		14		21	3		11	8	1
呉羽		5		8	1		6		
水橋		5		8	1		5		
大沢野	1(猪谷)	9		13	2		16		
大山	1(小見)	10		12	2		5		
八尾	1(大長谷)	5		8	1		11		
婦中	1(山田)	8		13	2		10	1	
計	5	96	1	135	18	3	88	14	1

※消防救急デジタル無線は、緊急消防援助隊等の活動時に他県で使用している主運用波も使用できるよう整備することと消防庁から指示があり、移動局（携帯、車載、卓上、可搬）には主運用波を全て実装している。

固定電話(加入・IP)、携帯電話からの119番受信状況

(令和5年)

通報種別件数

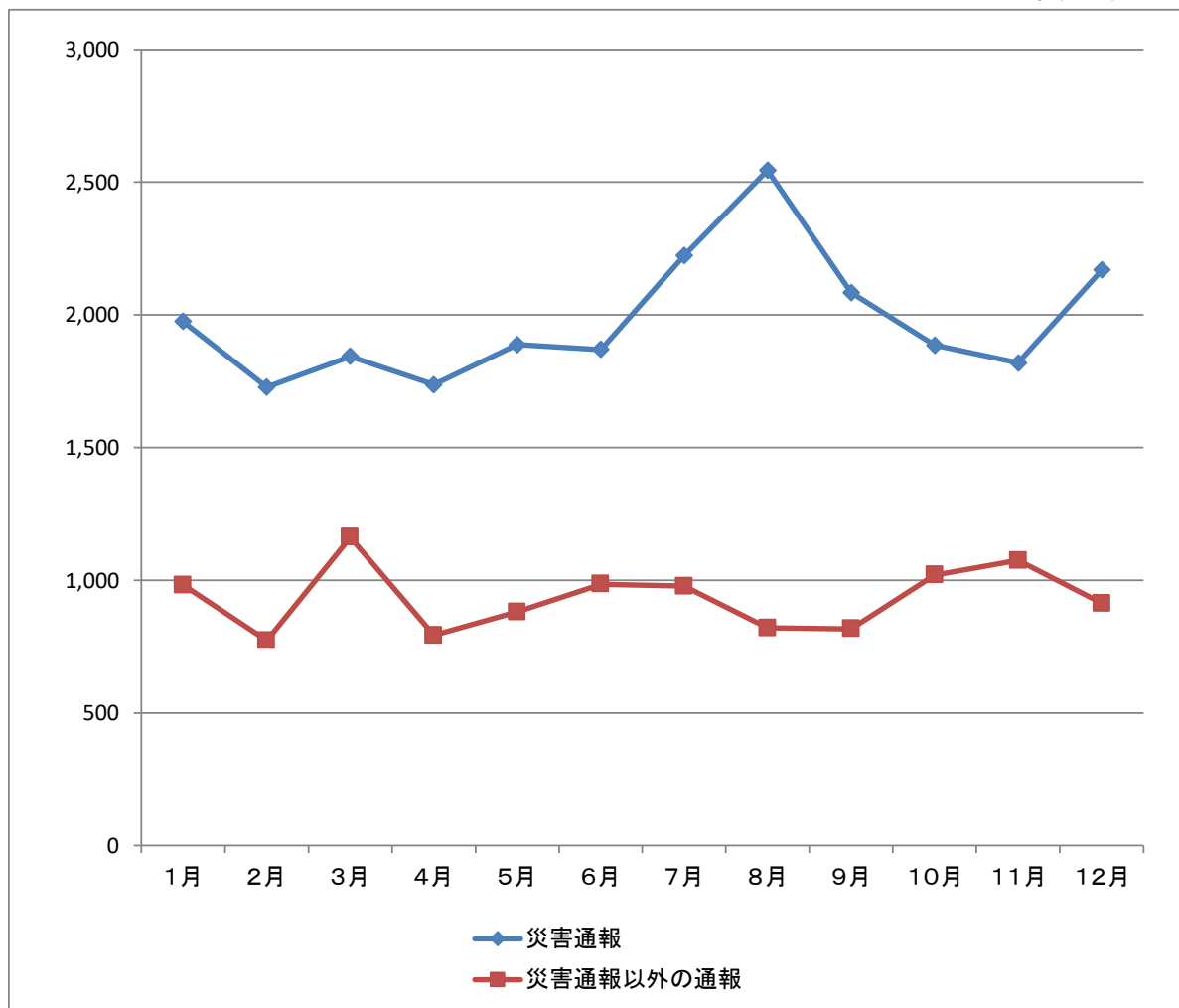


	火 災	救急救助	その他災害	問合せ	間違い	いたずら	その他	合計
固 定	74	12,069	89	529	429	19	346	13,555
携 帯	109	11,240	187	1,360	1,811	37	1,479	16,223
(転送)受	(1)	(105)	(5)	(3)			(4)	(118)
(転送)送	(5)	(240)	(8)	(5)			(2)	(260)
合 計	183	23,309	276	1,889	2,240	56	1,825	29,778

※訓練・試験を除く

月別通報受信状況

(令和5年)



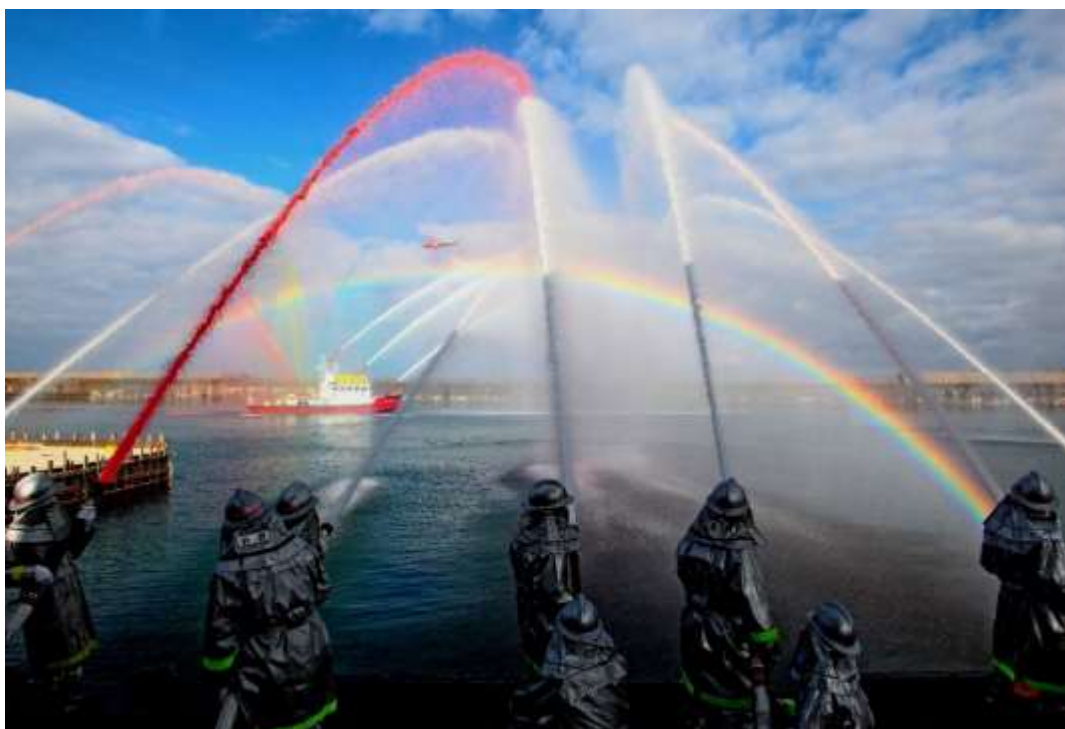
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害通報	火災通報	4	9	26	16	15	10	11	17	8	33	12	22	183
	救急通報	1,935	1,692	1,780	1,694	1,853	1,835	2,147	2,482	2,049	1,813	1,764	2,119	23,163
	救助通報	10	12	11	6	8	11	19	18	9	21	12	9	146
	その他災害通報	26	15	27	21	12	14	46	28	18	19	31	19	276
災害通報小計		1,975	1,728	1,844	1,737	1,888	1,870	2,223	2,545	2,084	1,886	1,819	2,169	23,768
災害通報以外の通報	訓練	73	235	575	108	181	271	196	104	241	389	532	267	3,172
	試験	413	115	146	177	157	160	138	123	103	200	153	134	2,019
	いたずら	11	14	3	2	4	2	7	2	3	2	3	3	56
	間違い	154	153	181	222	230	261	263	177	176	148	143	132	2,240
	病院問合せ	52	47	45	59	64	59	77	90	70	45	43	60	711
	問合せ	116	73	70	110	75	99	126	125	83	104	74	123	1,178
	その他	163	136	142	115	170	134	171	200	141	132	127	194	1,825
その他の通報小計		982	773	1,162	793	881	986	978	821	817	1,020	1,075	913	11,201
総 計		2,957	2,501	3,006	2,530	2,769	2,856	3,201	3,366	2,901	2,906	2,894	3,082	34,969

※「その他災害通報」とは、火災・救急・救助以外の災害通報をいう。

消 防 団

組織は1消防団、80コ分団、定員2,649人で各分団に普通ポンプ自動車等が配備されています。

災害現場では、署・団一体となって防ぎよ活動にあたる体制をとる一方、女性消防団員のソフトなイメージを活かし、予防広報や地域ぐるみの防火体制づくりを推進するなど積極的な活動により、地域住民の安全と幸福に重要な役割をはたしています。



第12回 防災写真コンクール 準特賞作品

1. 定員及び現員

(令和6年4月1日)

		計	消防団長	副 団 長		分団長	副分団長	部長	班長	団員
				方面団長	方面副団長					
定員	富山市消防団	2,649	1	10	18	80	81	109	429	1,921
	28									
	本 部	24	1	10				1	12	
	富山方面団	673		1	4	25	25	25	112	482
	北部方面団	376		1	2	11	11	11	61	280
	呉羽方面団	141		1	1	6	6	6	26	96
	水橋方面団	153		1	1	5	5	5	25	112
	大沢野方面団	254		1	2	7	8	14	41	182
	大山方面団	180		1	2	5	5	9	33	126
	八尾方面団	351		1	2	9	9	13	50	268
	婦中方面団	329		1	2	8	8	16	57	238
	山田方面団	59		1	1	2	2	2	8	44
細入方面団	109		1	1	2	2	8	15	81	
		計	消防団長	副 団 長		分団長	副分団長	部長	班長	団員
				方面団長	方面副団長					
現員	富山市消防団	1,955 (116)	1	10	18	80(2)	81(2)	113(8)	391 (19)	1,261 (85)
	28									
	本 部	18(7)	1	10					7(7)	
	富山方面団	479(14)		1	4	25(1)	25(1)	25(1)	95(2)	305(9)
	北部方面団	264(14)		1	2	11	11	12(1)	51(2)	177(11)
	呉羽方面団	135(12)		1	1	6	6	7(1)	27(2)	88(9)
	水橋方面団	103(7)		1	1	5	5	6	26(2)	60(5)
	大沢野方面団	174(12)		1	2	7(1)	8(1)	14(1)	37(3)	106(6)
	大山方面団	108(6)		1	2	5	5	9(1)	26(2)	61(3)
	八尾方面団	280(18)		1	2	9	9	14(1)	47(2)	199(15)
	婦中方面団	256(13)		1	2	8	8	17(1)	59(2)	162(10)
	山田方面団	60(7)		1	1	2	2	2	8(1)	45(6)
細入方面団	78(6)		1	1	2	2	7(1)	15(1)	51(4)	

() 内の数字については女性消防団員の内数

(単位:人)

※各方面団長については本部の人員で計上しています。

2. 団員の勤続年数状況

(令和6年4月1日)

	計	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
非常勤消防団員	1,955	315	337	358	364	238	185	158
うち女性団員	116	45	21	23	25	2	0	0

(単位:人)

3. 団員の年齢状況

(令和6年4月1日)

	計		消防団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
		女性							
平均年齢	46.8	46.9	65.0	63.9	60.0	57.4	55.5	51.2	42.7
団員数	1,955	116	1	28	80	81	113	391	1,261
18歳以上 21歳未満	11	2							11
21 " 26 "	37	9							37
26 " 31 "	70	8							70
31 " 36 "	142	5						1	141
36 " 41 "	246	11				1	1	11	233
41 " 46 "	319	9					3	48	268
46 " 51 "	383	14			1	3	11	112	256
51 " 56 "	366	19			7	16	44	137	162
56 " 61 "	235	24		3	29	47	37	62	57
61歳以上	146	15	1	25	43	14	17	20	26

(単位:人)

4. 団員の任免状況

令和5年 4月1日 現在の実員			計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	令和6年 4月1日 現在の実員
1,979名	退職	5年以上	97		5	21	4	14	21	32	1,955名
		5年未満	12							12	
	計		109		5	21	4	14	21	44	
	採用		83							83	

(単位:人)

団名		31.4/1～ R2.3/31	R2.4/1～ R3.3/31	R3.4/1～ R4.3/31	R4.4/1～ R5.3/31	R5.4/1～ R6.3/31	過去5年 平均
富山市消防団	採用	101	57	60	48	83	69.8
	退職	135	113	211	124	109	138.4

(単位:人)

5. 団員の諸報酬支給

(1) 年額報酬

(令和6年4月1日)

区 分	団 長 副団長(※1)	副団長(※2)	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円

※1 方面団長の職に限る。

※2 方面団長の職を除く。

(2) 出場報酬

災害による職務
4時間未満の場合

1日につき 8,000円

1日につき 4,000円

警戒・訓練・その他

1日につき 2,000円

(3) 消防分団運営交付金

1コ分団(年額)

40,000円



6. 消防団装備・置場

	車種・器具		分 団 置 場				
	普通ポンプ自動車 (小型積載車)	小型動力ポンプ	所在地	構造	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
富山市消防団	88	60					
富山方面団	24	3					
総曲輪分団	1	-	丸の内一丁目11	S造2階建	132.23	150.70	
愛宕分団	1	-	安田町2の13	S造平屋建	271.10	72.00	
安野屋分団	1	-	舟橋南町11の17	S造平屋建	147.16	72.00	
西田地方分団	1	-	西田地方二丁目10の37	S造平屋建	295.32	100.20	
星井町分団	1	-	中野新町二丁目2の20	S造平屋建	160.99	95.30	
五番町分団	1	-	南新町4の14	S造平屋建	164.72	92.50	
清水町分団	1	-	清水町五丁目6の27	S造平屋建	250.47	96.32	
八人町分団	1	-	八人町1の10	S造2階建	93.71	100.00	
コミュニティ消防センター (柳町分団)	1	-	柳町二丁目2の19	S造2階建	149.71	113.43	
奥田分団	1	-	奥田本町7の45	S造平屋建	187.63	72.05	
東部分団	1	-	音羽町二丁目5の16	S造2階建	112.08	98.44	
五福分団	1	-	五福3412の8	S造平屋建	243.76	99.20	
桜谷分団	1	-	石坂2621の1	CP造平屋建	312.46	84.97	
新庄分団	1	-	新庄町三丁目5の14	S造平屋建	571.99	101.86	
藤ノ木分団	1	-	開254の3	S造平屋建	330.51	100.70	
広田分団	1	-	鍋田113番1	S造平屋建	329.99	97.99	
神明分団	1	-	高田180の2	S造平屋建	348.17	110.63	
堀川分団	1	-	堀川小泉町一丁目16の23	S造2階建	227.50	108.00	
蟻川分団	1	-	赤田418の3	S造平屋建	671.22	99.35	
太田分団	1	1	太田110の20	S造平屋建	224.05	92.48	
山室分団	1	1	秋吉152-1	S造平屋建	330.57	99.35	
熊野分団	1	-	悪王寺230	S造2階建		108.00	南部出張所敷地内

	車種・器具		分 団 置 場				
	普通ポンプ自動車 (小型積載車)	小型動力ポンプ	所 在 地	構 造	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
月 岡 分 団	1	-	上千俵町683	S 造 平 屋 建	207.90	100.40	
"	-	1	月岡町二丁目278	W 造 平 屋 建		4.94	器具庫 公民館敷地内
新 保 分 団	1	-	任海870の1	S 造 平 屋 建	336.96	72.24	
北 部 方 面 団	11	2					
岩 瀬 分 団	1	-	西宮275の97	CB 造 平 屋 建	159.89	95.60	
海 上 分 団	1	-	岩瀬入船町1の6				海上分遣所併設
大 広 田 分 団	1	-	東富山寿町二丁目1の14	S 造 平 屋 建		72.16	公民館敷地内
豊 田 分 団	1	-	豊田本町一丁目5の2	S 造 2 階 建	163.36	100.00	
浜 黒 崎 分 団	1	-	浜黒崎3295の3	S 造 平 屋 建	307.62	102.39	
針 原 分 団	1	-	針原中町756の1	CP 造 平 屋 建	552.06	84.97	
四 方 分 団	1	1	四方荒屋1500-1	S 造 平 屋 建		99.50	和合出張所敷地内
八 幡 分 団	1	-	宮尾3322の3	S 造 平 屋 建	124.83	72.84	
倉 垣 分 団	1	-	布目567	S 造 平 屋 建	666.91	100.14	
"	-	1	八町4740の3	S 造 平 屋 建	285.55	22.68	器具庫
草 島 分 団	1	-	草島8の12	S 造 平 屋 建	168.09	88.13	
萩 浦 分 団	1	-	千原崎二丁目1の1	S 造 2 階 建	100.80	72.00	
呉 羽 方 面 団	6	1					
呉 羽 分 団	1	-	呉羽町2417の5	S 造 平 屋 建		99.35	呉羽消防署敷地内
長 岡 分 団	1	-	長岡9396の3	S 造 平 屋 建	165.00	96.32	
寒 江 分 団	1	-	本郷中部355	S 造 平 屋 建	163.76	72.00	
老 田 分 団	1	-	中老田235の1	CP 造 平 屋 建	336.12	84.97	
古 沢 分 団	1	-	古沢498	RC 造 平 屋 建		79.73	公民館併設
池 多 分 団	1	1	西押川1367の3	S 造 2 階 建	175.53	108.00	
水 橋 方 面 団	5	-					
水 橋 西 部 分 団	1	-	水橋辻ヶ堂129の1	S 造 平 屋 建		97.85	地区センター敷地内
コミュニティ消防センター (水橋中部分団)	1	-	水橋中村町247の1	S 造 平 屋 建	270.33	97.02	

	車種・器具		分 団 置 場				
	普通ポンプ自動車 (小型積載車)	小型動力ポンプ	所在地	構造	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備考
水橋東部分団	1	-	水橋小池196の4	S造平屋建	330.7	72.16	
三郷分団	1	-	水橋小路245、246	S造平屋建	99.17	76.83	
上条分団	1	-	水橋石割93の4	S造平屋建	330	99.99	
大沢野方面団	10	7					
上大久保分団	1	-	長附139の2	S造2階建	198.26	122.4	
笹津分団	1	1	笹津831の6	S造2階建	973.81	136.27	
小羽分団(須原)	1	1	須原1169の1	S造平屋建		63.18	公民館併設 (占有面積)
〃 (下伏)	1	1	下伏1の1	S造平屋建	537	106.11	
船峠分団(中部)	1	-	坂本1479の1	W造平屋建	787.49	118.2	
〃 (南部)	1	1	舟倉1308の1	S造平屋建	224.64	56.95	
〃 (北部)	1	1	松野201の3	W造平屋建	388.62	99.63	
下タ分団(北部)	1	1	布尻146	S造平屋建	1260	86.5	
〃 (南部)	1	1	東猪谷1326の1	S造平屋建		69.42	公民館併設 (占有面積)
大久保分団	1	-	下大久保1181の1	S造平屋建	437	142.4	
大山方面団	5	8					
上滝分団	1	2	上滝537	S造2階建		189.78	上滝地区コミュニティセンター敷地
大庄分団	1	1	田畠556の3	S造平屋建	209.7	79.78	
福沢分団	1	1	東福沢1818	S造平屋建		79.93	大山農村環境改善センター敷地内
小見分団	1	1	小見177	S造2階建		122.19	旧小見公民館敷地内
文珠寺分団	1	1	文珠寺1300の4	RC造平屋建		40	公民館併設 (占有面積)
児童ランドポンプ置場	-	2	三室荒屋781の1	S造平屋建		9	大山児童公園敷地内
八尾方面団	11	13					
八尾分団(上新町)	1	1	八尾町上新町2723	S造平屋建	32.88	28.71	車庫
〃 (東町)	1	1	八尾町東町2188	S造平屋建	306.9	139.48	
保内分団(福島)	1	1	八尾町福島163	S造2階建	97.28	118.05	

	車種・器具		分 団 置 場				
	普通ポンプ自動車 (小型積載車)	小型動力ポンプ	所 在 地	構 造	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
〃 (三田)	1	1	八尾町三田178	S造平屋建	139.72	72.90	
杉原分団	1	1	八尾町大杉4145の4	S造平屋建	220.69	111.46	
〃 (深谷)	-	-	八尾町深谷839	W造平屋建	38.91	11.36	器具庫
〃 (薄島)	-	-	八尾町薄島92の1	W造平屋建	2,124.00	9.91	器具庫
〃 (井栗谷)	-	-	八尾町井栗谷1831の2	S造平屋建	11.00	9.72	器具庫
黒瀬谷分団	1	1	八尾町小長谷5014	S造平屋建	124.09	71.26	
卯花分団	1	1	八尾町下笹原3702	S造平屋建	138.24	69.12	
〃 (茗ヶ原)	-	1	八尾町茗ヶ原1812	W造平屋建	188.42	9.72	器具庫
〃 (桐谷)	-	1	八尾町桐谷1856の2	S造平屋建	204.00	11.20	器具庫
室牧分団	1	1	八尾町上野97の2	S造平屋建	110.88	64.59	
野積分団	1	1	八尾町水口527	S造平屋建	78.60	71.26	
仁歩分団	1	1	八尾町平沢541の1	S造平屋建	359.00	90.00	
〃 (上仁歩)	-	-	八尾町上仁歩417	W造平屋建	7.80	7.29	器具庫
〃 (武道原)	-	-	八尾町武道原2187	W造平屋建	4.25	3.40	器具庫
大長谷分団	1	1	八尾町島地1	S造平屋建	81.50	68.04	
婦中方面団	8	8					
速星分団	1	1	婦中町笹倉130の2	S造平屋建	277.69	120.13	
鵜坂分団	1	1	婦中町田島1135-6	S造2階建	323.38	108.00	
宮川分団	1	1	婦中町広田4177	S造平屋建	628.48	81.00	
熊野分団	1	1	婦中町堀602番2	S造平屋建	346.00	100.00	
朝日分団	1	1	婦中町下条196の2	S造平屋建	330.60	119.98	
古里分団	1	1	婦中町長沢3956の7	S造平屋建	371.62	73.00	
神保分団	1	1	婦中町高日附819	S造2階建	152.82	108.00	
音川分団	1	1	婦中町外輪野832の1	S造2階建	111.17	108.00	

	車種・器具		分 団 置 場				
	普通ポンプ自動車 (小型積載車)	小型動力ポンプ	所在地	構造	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備考
山 田 方 面 団	2	2					
山 田 南 部 分 団	1	1	山田湯700	S 造 3 階 建	215.37	309.67	
山 田 北 部 分 団	1	1	山田小島2697の4	S 造 平 屋 建		91.51	山田分遣所敷地内
細 入 方 面 団	6	16					
細入北分団(西笹津)	1	2	西笹津258	S 造 2 階 建	138.18	107.92	
〃 (楡 原)	1	2	楡原1230の1	S 造 平 屋 建		347.69	コミュニティセンター・ 除雪機械格納庫併設
〃	-	1	〃 1325の2	W 造 平 屋 建	16.00	5.35	器具庫
〃 (庵 谷)	1	2	庵谷599の2	S 造 平 屋 建	91.80	52.22	
〃	-	1	庵谷館250の2	W 造 平 屋 建	9.91	9.91	器具庫
〃 (岩 稻)	1	2	岩稻459の3	S 造 平 屋 建	85.29	59.04	
細入南分団(片掛)	1	2	片掛1982	S 造 平 屋 建	310.74	65.00	
〃 (猪 谷)	1	4	猪谷494の1	S 造 2 階 建	171.05	178.20	



火 災



第56回

富山市防火ポスター審査会

小学生の部 金賞作品

富山市東部小学校6年生

辻屋 里彩さん



第56回

富山市防火ポスター審査会

中学生の部 金賞作品

富山市立堀川中学校3年生

金山 大都さん



1. 火災概況

(令和5年)

消防署別 区分			計	富 山	富 山 北	呉 羽	水 橋	大 沢 野	大 山	八 尾	婦 中
出 火 件 数	計		67	34	6	6	6	2	3	2	8
	建 物 火 災		51	27	4	4	4	2	2	2	6
	林 野 火 災		1						1		
	車 両 火 災		8	2	1	1	2				2
	船 舶 火 災		0								
	航空機火災		0								
	その他火災		7	5	1	1					
焼 損 棟 数	計		70	40	5	4	6	2	5	2	6
	全 焼		13	5	2	1	1	1	2		1
	半 焼		4	3							1
	部 分 焼		22	14	2	1	2			1	2
	ぼ や		31	18	1	2	3	1	3	1	2
焼 損 面	建 物	床面積 (㎡)	2,425	1,237	525	118	137	2	32		374
		表面積 (㎡)	246	137	57	2	21		2	2	25
	林 野 (a)		42						42		
り 災 世 帯 数			41	28	1	2	2	1	2	1	4
り 災 人 員			102	59	9	5	3	5	3	2	16
損 害 額 (千 円)			105,280	61,396	6,651	5,094	4,619	34	613	60	26,813
死 者			9	5			3		1		
負 傷 者			15	10	2	1		1		1	

2. 月別火災概況

(令和5年)

消防署別 月	計	富 山	富 山 北	呉 羽	水 橋	大 沢 野	大 山	八 尾	婦 中
計	67	34	6	6	6	2	3	2	8
1月	3	1			2				
2月	4	2			1				1
3月	11	8				1	1		1
4月	6	4		1					1
5月	5	1	1	2			1		
6月	6	3	1		1			1	
7月	2	2							
8月	6	1		1	2				2
9月	7	3	3			1			
10月	3		1					1	1
11月	5	4							1
12月	9	5		2			1		1

3. 火災原因別順位

(令和5年)

順位	1 位	3 位
火災原因	たばこ、放火（疑い含む） 各9件	電気機器 7件

救 急 ・ 救 助

令和5年の救急出動件数は、23,154件で前年に比べ1,457件増となりました。1日平均では、約63件出動したことになります。

事故種別では、急病が15,964件で最も多く、次いで一般負傷3,155件、転院搬送2,247件、交通946件の順になっています。

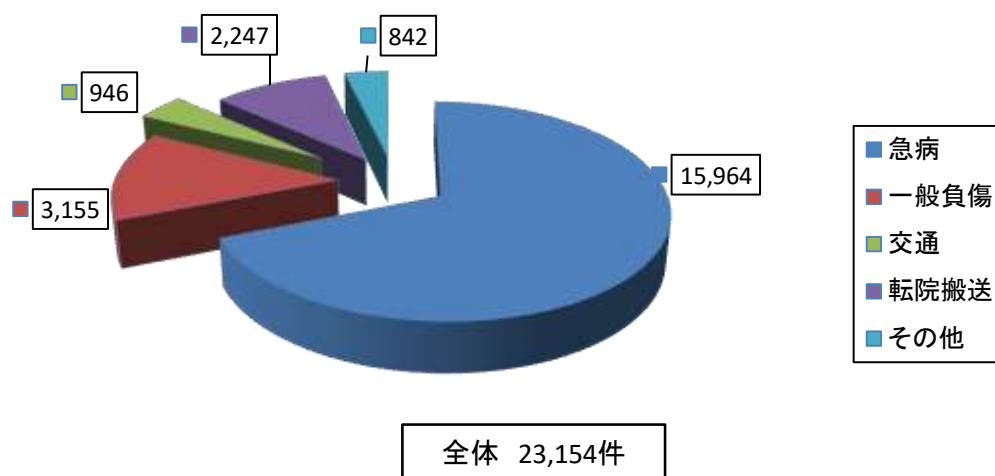
搬送人員は、21,988人で市民19人に1人が搬送されたことになります。

令和5年の救助出動件数は220件で、救出人員は117名でした。

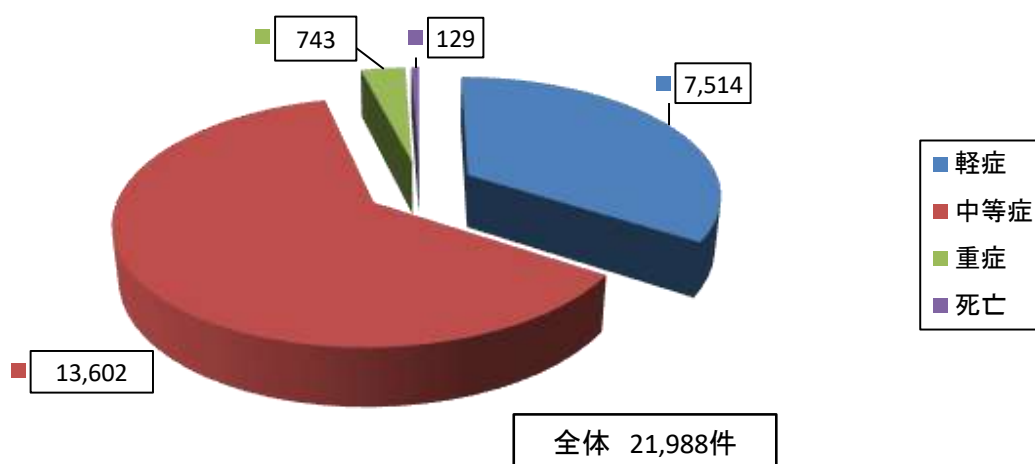
事故種別では建物等の事故が82件で最も多く、次いで交通事故74件となっています。



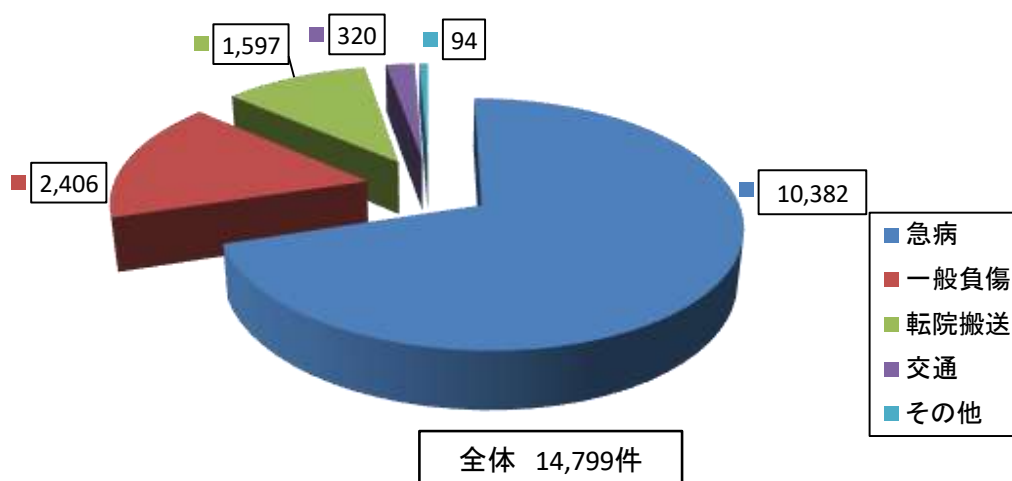
1. 令和5年 救急出動件数



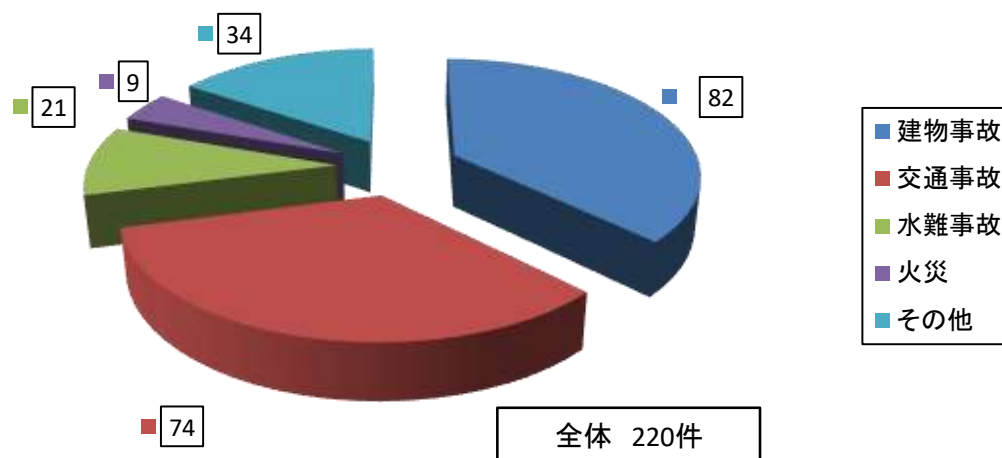
2. 令和5年 傷病程度別搬送人員



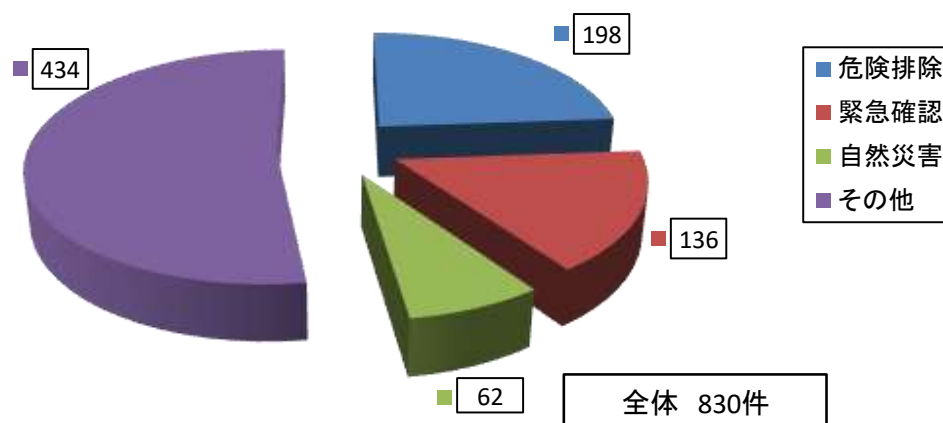
3. 令和5年 65歳以上の搬送人員



4. 令和5年 救助出動件数



5. 令和5年 その他災害出動件数(火災、救急、救助以外の出動)



危険排除
緊急確認
自然災害
その他

屋外の燃焼事故・電気事故・漏洩流出など
誤認・自動火災報知設備・いたずら・緊急通報・怪煙など
水害・風害・雪害・土砂災害など
危険排除、緊急確認、自然災害以外の出動

6. 消防艇の出動状況

(令和5年)
※救命艇を含む

月	区分	出動件数											
		計	船舶遭難	船舶火災	沿岸火災	水難救護	流出油	救助救急	訓練出動	警戒	応援	試験航海	その他
計	出動件数	41	0	0	0	4	0	0	8	0	0	23	6
	出動人員	288	0	0	0	10	0	0	45	0	0	215	18
1	出動件数	2							1			1	
	出動人員	23							10			13	
2	出動件数	3				1						2	
	出動人員	19				2						17	
3	出動件数	2										2	
	出動人員	21										21	
4	出動件数	4										2	2
	出動人員	24										20	4
5	出動件数	4				1						2	1
	出動人員	25				4						17	4
6	出動件数	3							1			2	
	出動人員	16							5			11	
7	出動件数	6				1			1			2	2
	出動人員	32				2			5			19	6
8	出動件数	4				1						2	1
	出動人員	24				2						18	4
9	出動件数	3							1			2	
	出動人員	24							4			20	
10	出動件数	3							1			2	
	出動人員	24							4			20	
11	出動件数	3							1			2	
	出動人員	23							4			19	
12	出動件数	4							2			2	
	出動人員	33							13			20	

7. 応急手当の普及啓発実施状況

応急手当の普及啓発は、応急手当普及員の協力を得て市民を対象とした応急手当の講習会を実施しています。

令和5年度には、604回の講習会を開催し、13,140名が受講されました。

(令和5年度)

講習の種別	上級救命講習 (8時間コース)	普通救命講習 (3・4時間コース)	入門コース	その他講習等	合 計
講習実施回数	6回	306回	192回	100回	604回
受講人員	92名	4,934名	4,516名	3,598名	13,140名



救急救命処置訓練(血糖測定を行う救急救命士)



救命講習会